

フェリス女学院大学学則

第1章 目的及び使命

(目的及び使命)

第1条 本学は、キリスト教を教育の基本方針となし、学問研究及び教育の機関として、女子に高度の教育を授け、専門の学問を教授研究し、もって真理と平和を愛し、人類の福祉に寄与する人物を養成することを目的とする。

第1章の2 自己点検・評価

(自己点検・評価)

第1条の2 本学の設置目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について、不断の自己点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 本学は、前項の自己点検及び評価の結果について、本学の職員以外の者による検証を行うよう努める。

3 自己点検・評価に関し必要な事項は、別に定める。

第2章 組織及び学生収容定員

(組織)

第2条 本学に次の学部・学科を置く。

- (1) 文学部 英語英米文学科 日本語日本文学科 コミュニケーション学科
- (2) 音楽学部 音楽芸術学科
- (3) 国際交流学部 国際交流学科

(学部の教育研究目的)

第2条の2 各学部の教育研究目的は、次のとおりとする。

(1) 文学部

人文科学の領域に関する高度の教育研究を行い、多様化する社会で他者と共生し、主体的に表現できる豊かな素養を身に付けた人材を養成する。

(2) 音楽学部

音楽の領域を中心とした高度の教育研究を行い、現代文化に対する理解を深めることにより、社会に積極的にかかわる、創造性豊かな人材を養成する。

(3) 国際交流学部

国際交流の領域に関する高度の教育研究を行い、グローバル化の時代にふさわしい、専門分野の枠を越えた総合的知識を身に付けた人材を養成する。

(学生収容定員)

第2条の3 学生収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	2年次 編入学定員	収容定員
文学部	英語英米文学科	90名	—	360名
	日本語日本文学科	90名	—	360名
	コミュニケーション学科	90名	—	360名
	計	270名	—	1,080名

音楽学部	音楽芸術学科	75名	—	300名
国際交流学部	国際交流学科	197名	4名	800名
合 計		542名	4名	2,180名

(全学教養教育機構)

第2条の4 本学に全学教養教育機構を置く。

2 全学教養教育機構に関し必要な事項は、別に定める。

(大学院)

第2条の5 本学に大学院を置く。

2 大学院の学則は、別に定める。

第3章 授業科目

(授業科目)

第3条 本学の授業科目は、共通科目、専門科目及び教職に関する科目とし、その科目名及び単位数は、それぞれ別表第1、別表第2及び別表第3のとおりとする。

2 共通科目は、CLAコア科目及び語学科目とする。

(外国人留学生に関する授業科目)

第3条の2 前条のほか、外国人留学生を対象として別表第4のとおり日本語科目及び日本事情に関する科目を置く。

第4条から第8条まで 削除

第4章 履修方法、単位及び卒業の認定

(修業年限)

第9条 本学の修業年限を4年とする。

(在学期間)

第9条の2 在学期間は、8年を超えることができない。

2 第25条の2に規定する2年次編入学生の在学期間は、6年を超えることができない。

3 第25条の3に規定する3年次編入学生の在学期間は、4年を超えることができない。

(履修希望科目の届出)

第10条 学生は、毎学期始めに履修希望の授業科目を学部長に届け出て、その承認を受けなければならない。

2 休学期間中は、履修希望科目の届出はできない。

3 留学期間中は、履修希望科目の届出はできない。ただし、留学を終了した学期に願い出た者について、この届出を許可することがある。必要な手続及び条件については、別に定める。

(他学部他学科専門科目の履修)

第11条 学生は、他学部他学科の専門科目を履修することができる。

(単位の認定)

第12条 単位の認定は、試験その他の大学が定める適切な方法により学修の成果を評価して行う。ただし、卒業論文、卒業レポート、卒業論文・卒業制作、卒業演奏、卒業研究及び卒業プロジェクトの単位の認定は審査によって行うものとし、必要に応じ、口頭試問を併せて行うことができる。

(受験資格)

第13条 学生は、履修授業科目について3分の2以上出席しなければ、当該授業科目の試験を受けることができない。

(単位の授与)

第14条 授業科目の到達目標を達成した者には、所定の単位を与える。

(入学前の既修得単位等の認定)

第14条の2 学生が入学前に修得した次の単位等については、教授会の定めるところにより、本学における授業科目の履修により修得した単位とみなし、又は与えることができる。

(1) 大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位

(2) 短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が大学教育に相当する水準を有すると認めた教育施設等における学修で本学が大学における授業科目の履修とみなした学修

2 前項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて60単位を超えないものとする。

(他の大学等における授業科目の履修)

第14条の3 本学の学生が他の大学等において修得した次の単位等については、教授会の定めるところにより、本学における授業科目の履修により修得した単位とみなし、又は与えることができる。

(1) 他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位

(2) 短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が大学教育に相当する水準を有すると認めた教育施設等における学修で本学が大学における授業科目の履修とみなした学修

2 前項第1号の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、本学において修得した単位以外のものについては、前条により本学において修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(遠隔授業)

第14条の4 本学が教育上有益と認めるときは、当該授業科目を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、60単位を超えないものとする。

(成績評価)

第15条 授業科目の成績は、S、A、B、C、F、又は合格、不合格の7種類の評語をもって表わし、S、A、B、C、又は合格を合格とする。

(単位)

第16条 授業科目の単位の計算方法は、次の基準によるものとする。

(1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。

(2) 演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(3) 実技、実習及び実験については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。ただし、音楽学部における個人指導による実技については、別に定める。

第17条 削除

(卒業の要件)

第18条 卒業資格の認定を得るためには、本学に4年以上在学し、別表第5に定めるところにより卒業に必要な単位を修得しなければならない。

(廃止科目等の取扱い)

第18条の2 第3条関係別表第1、別表第2及び別表第3に定める授業科目のほか、学生が既に履修した授業科目の科目名及び修得した単位数については、なおその効力を有する。

(外国人留学生の卒業の要件)

第18条の3 外国人留学生については、第18条の要件に加え、次の各号の要件を満たさなければならない。

(1) 第3条の2に定める日本語科目 第18条関係別表第5の語学科目に代えて 10単位

(2) 第3条の2に定める日本事情に関する科目 4単位

2 前項第1号に定める科目は語学科目とみなす。

3 第1項第1号については、そのうち2単位は、学部の指定する授業科目を修得することにより代えることができる。

4 文学部英語英米文学科の外国人留学生については、第1項第1号に加え英語科目12単位又は20単位を必修とする。

(教育職員免許状)

第19条 教育職員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める単位を修得しなければならない。

2 本学において取得できる免許状の種類は、次のとおりとする。

免許状の種類	免許教科	学部・学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英 語	文学部 英語英米文学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国 語	文学部 日本語日本文学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	音 楽	音楽学部 音楽芸術学科
中学校教諭一種免許状	社 会	国際交流学部 国際交流学科
高等学校教諭一種免許状	地理歴史	国際交流学部 国際交流学科
高等学校教諭一種免許状	公 民	国際交流学部 国際交流学科

(日本語教員養成講座)

第19条の2 本学に日本語教員養成講座を置く。

2 前項の講座に関し必要な事項は、別に定める。

第5章 卒業及び学位の授与

(卒業及び学位授与)

第20条 第18条の規定により教授会の議を経て、卒業資格の認定を受けた者には、学長が卒業を決定し、学士の学位を授与する。

2 学位の授与に関する規則は、別に定める。

第21条 削除

第6章 学年、学期及び休業日

(学年及び学期)

第22条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 学年を分けて、次の2学期とする。

前期 4月1日から 9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(授業期間)

第22条の2 授業を行う期間は、前期と後期を合わせて年間35週とする。

(休業日)

第23条 休業日は、次の各号に掲げるところによる。ただし、学長は、授業の都合等により、これを変更することができる。

(1) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(2) 日曜日、土曜日

(3) 開学記念日 6月1日

(4) 夏季休業日 8月1日から 9月20日まで

(5) 冬季休業日 12月22日から 1月10日まで

(6) 春季休業日 3月16日から 3月31日まで

(7) 臨時休業日については、学長がその都度定める。

第7章 入学、留学、休学、退学等

(入学時期)

第24条 学生の入学時期は、学年の始めとする。ただし、教授会が十分な理由があると認めるときには、教育上支障がない限り、学期の始めとすることができる。

(入学資格)

第25条 本学の1年次に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する女子とする。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）

(3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の

当該課程を修了した者

- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
- (9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの
- (10) 前各号に掲げるものほか、学校教育法第90条及び学校教育法施行規則第150条に該当する者

（2年次編入学）

第25条の2 本学の2年次に編入学（転入学を含む。）することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者又は学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 大学に1年以上（休学期間を除く。）在学し、30単位以上を修得した者
- (5) 学校教育法第132条に規定する専修学校の専門課程を修了した者
- (6) 学校教育法第58条の2に規定する高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）の専攻科の課程を修了した者
- (7) 外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者（日本における外国の大学又は短期大学相当として文部科学大臣が指定した外国の学校を含む。）

2 第2条の3に規定するもののほか、本学への2年次編入学を願い出た者については、欠員のある場合に限り、選考の上、学長がこれを許可する。

3 前2項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

（3年次編入学）

第25条の3 本学の3年次に編入学（転入学を含む。）することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者又は学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 大学に2年以上（休学期間を除く。）在学し、62単位以上を修得した者

- (5) 学校教育法第132条に規定する専修学校の専門課程を修了した者
- (6) 学校教育法第58条の2に規定する高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）の専攻科の課程を修了した者
- (7) 外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者（日本における外国の大学又は短期大学相当として文部科学大臣が指定した外国の学校を含む。）

2 本学への3年次編入学を願い出た者については、欠員のある場合に限り、選考の上、学長がこれを許可する。

3 前2項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

（出願）

第26条 本学への入学を志願する者は、所定の期限までに、志願手続（出願登録）を行い、出身学校の調査書等出願資格を証明する書類その他別に定める書類を提出するとともに、入学検定料を納入しなければならない。

（入学者の選抜）

第26条の2 入学志願者に対しては、学力検査等選抜を行い、教授会及び大学評議会の議を経て、学長が合格者を決定する。

2 選抜の方法、時期については、教授会が定める。

（入学手続）

第26条の3 本学への入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、所定の期限までに、入学手続金を納入しなければならない。

2 入学手続金については、第36条第1項に定めるところによる。

（宣誓）

第26条の4 本学への入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、所定の宣誓をしなければならない。

2 本学への入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、所定の期限までに、指定された手続を済ませ、次に掲げる書類を提出しなければならない。

(1) 誓約書・保証書（本学所定）

(2) 住民票

(3) 卒業証明書又は修了証明書（卒業見込み又は修了見込みで出願した者に限る。）

(4) 前3号のほか、本学が定める書類

（入学の決定）

第26条の5 学長は、前2条の手続を行った者について、入学を決定するものとする。

2 学長は、前2条の手続を行わない者の入学を取り消すことができる。

（保証人）

第27条 保証人は、父母又は独立の生計を営む者で、確実に保証人としての責任を果たし得る者でなければならない。

2 保証人は、保証する学生の在学中、その一身上に関する事項について一切の責務を負うもの

とする。ただし、金銭上の責任については、第26条の4第2項第1号に規定する誓約書・保証書に示された極度額の範囲内とする。

3 保証人が何らかの事由によって責務を果たし得ない場合又は保証人を変更しようとする場合には、新たに保証人を選定して速やかに届け出なければならない。

4 本学が保証人として不相当と認めたときは、その変更を命ずることができる。

(転居、改姓の届出)

第28条 学生又は保証人が転居、改姓したときは、その旨を速やかに届け出なければならない。

(留学)

第28条の2 外国の大学に留学を志願する者は、所定の手続により、許可を得て留学することができる。

2 留学の期間は、1年を限度として第9条の2に定める在学期間として扱う。

3 留学に関し必要な事項は、別に定める。

(休学)

第29条 病気その他やむを得ない理由により修学することができない者は、保証人連署の上、所定の期日までに願い出て、1学期又は1年を区分として休学することができる。

2 校医の診断に基づき病気のため修学することが適当でない認められる者については、学長は、休学を命ずることができる。

(休学期間)

第29条の2 休学できる期間は、1年を超えることができない。ただし、特別の事情がある者は、学長の許可を得て、なお1年以内の休学をすることができる。

2 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

3 休学期間は、第9条の2の在学期間に算入しない。

(出席停止)

第30条 学長は、感染症にかかった学生又はそのおそれのある学生に対して、出席停止を命ずることができる。

(出席停止期間)

第30条の2 出席停止期間は、学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号）第19条の規定に準じて、学長が決定する。

(転学部及び転学科)

第31条 所属する学部、学科から他の学部、学科に転学部、転学科を願い出た者については、選考の上、これを許可することがある。

2 転学部、転学科に関し必要な事項は、別に定める。

第32条 削除

(退学)

第33条 退学しようとする者は、保証人連署の上、願い出なければならない。ただし、退学する日を含む学期の授業料等学納金を納入していなければならない。

(除籍)

第34条 次の各号のいずれかに該当する者は、除籍する。

- (1) 第9条の2に定める在学期間を超えて卒業資格を得られない者
- (2) 学生納付金の納入を怠り、督促してもなお納入しない者
- (3) 第29条の2第2項に定める休学期間を超えてなお復学できない者
- (4) 死亡した者
- (5) 長期間にわたり行方不明の者

(再入学)

第34条の2 本学を退学した者又は本学から除籍を受けた者が再入学を願い出たときは、選考の上、これを許可することがある。ただし、前条第1号により除籍を受けた者は、再入学を願い出ることにはできない。

2 再入学に関し必要な事項は、別に定める。

(学籍の異動に係る決定)

第34条の3 留学、休学、復学、転学、除籍及び再入学については、教授会の意見を参酌した上で、学長が決定する。

第8章 入学検定料、学生納付金

(入学検定料)

第35条 入学検定料の額は、別表第6に定めるところによる。

2 入学検定料を減免することがある。

3 前2項のほか、入学検定料の取扱いに関し必要な事項は、別に定める。

(入学手続金)

第36条 入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、本学が定める期間内に、入学金及び入学年度前期分の授業料等学納金（以下「学納金」という。）を納入しなければならない。

2 前項の規定に従って入学金及び学納金を納入した者が、入学以前の本学が定める期日までに入学辞退を申し出た場合は、既に納めた学納金を返還するものとする。ただし、入学金は返還しない。

(学納金)

第36条の2 学生は、学期ごとに当該学期分の学納金を、前期分については4月、後期分については10月に納入しなければならない。

2 学生は、学納金のうち施設設備費については、入学した年度から在学する8学期間（2年次編入学生にあつては6学期間、3年次編入学生にあつては4学期間）納入するものとする。

(留学者及び休学者の扱い)

第36条の3 第28条の2第1項の規定により本学から外国の大学に留学する者（以下「留学者」という。）は、本学が定める期間内に、所定の授業料及び施設設備費を納入しなければならない。

2 第29条の規定により休学する者（以下「休学者」という。）は、本学が定める期間内に、所定の在籍料を納入するものとし、休学期間中は施設設備費の納入を必要としない。ただし、休学者は、復学後、前条第2項に定められた残りの施設設備費を本学が定める期間内に納入しなければならない。

(納付額)

第36条の4 前3条の額は、別表第7に定めるところによる。

(編入学者の学生納付金)

第36条の5 編入学者の入学金及び学納金は、編入学する年次の額を適用する。

(再入学者の学生納付金)

第36条の6 第34条の2第1項の規定による再入学を願い出る者の入学検定料は、再入学を希望する年度の入学検定料の2分の1の額とする。

2 再入学の許可を受けた者の入学金は、再入学する年度の入学金の2分の1の額とし、学納金は、再入学する年度の1年次生に適用する額とする。

3 退学又は除籍以前の在学期間が第9条に規定する修業年限を超えている者については、学納金のうち施設設備費は、納入を必要としない。

(納入方法等)

第37条 第35条から前条までに定めるもののほか、学生納付金の額、納入方法等は、別に定める。

2 いったん納めた学生納付金は、別に定める場合を除き、返還しない。

第9章 教職員組織

(教職員組織)

第38条 本学に学長、副学長を置く。

2 本学に次の教職員を置く。

教授

准教授

助教

講師

助手

副手

事務職員

医療職員

3 学長、副学長及び教職員の職務は、学校教育法その他法令の定めるもののほか、別に定めるところによる。

第10章 教授会及び大学評議会

(教授会)

第39条 本学の各学部教授会を置き、各学部所属する専任教員をもって構成する。

2 教授会に関し必要な事項は、別に定める。

(大学評議会)

第39条の2 本学に大学評議会を置く。

2 大学評議会に関し必要な事項は、別に定める。

第11章 削除

第40条 削除

第12章 図書館、研究施設及びセンター

(附属図書館)

第41条 本学に附属図書館を置く。

2 附属図書館に関し必要な事項は、別に定める。

(教育研究施設)

第42条 本学に教育研究施設を置くことができる。

2 教育研究施設に関し必要な事項は、別に定める。

(センター)

第42条の2 本学に教育・研究の特定分野を所管する附属のセンターを置くことができる。

2 センターに関し必要な事項は、別に定める。

第13章 科目等履修生、交流学生、外国人留学生及び交換留学生

(科目等履修生)

第43条 学長は、本学学生でない者で本学所定の授業科目の履修を希望する者については、選考の上、科目等履修生として履修を許可することができる。

2 前項の許可を受けようとする者は、所定の手続により、選考料を添えて学長に願い出なければならない。

3 科目等履修生として履修を許可された者は、所定の期日までに登録料・施設設備利用料及び受講料を納入しなければならない。ただし、履修する科目について単位の認定を希望する者は、単位認定料を併せて納入しなければならない。

4 前2項の額は、別表第8に定めるとおりとする。

5 既に納めた選考料、登録料・施設設備利用料、受講料及び単位認定料は、いかなる理由にかかわらず返還しない。

6 前各項に定めるもののほか、科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(交流学生)

第43条の2 学長は、本学と協定のある日本国内の他の大学に在籍する学生で本学所定の授業科目の履修を希望する者については、選考の上、交流学生として履修を許可することができる。

2 前項の許可を受けようとする者は、所定の手続により、学長に願い出なければならない。

3 前2項に定めるもののほか、交流学生に関し必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生)

第44条 学長は、外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者については、選考の上、外国人留学生として入学を許可することができる。

2 外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

(交換留学生)

第44条の2 学長は、本学と協定のある外国の大学の学生については、交換留学生として入学を許可することができる。

2 交換留学生に関し必要な事項は、別に定める。

第14章 公開講座

(公開講座)

第45条 本学に、公開講座を開設することができる。

2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

第15章 削除

第46条 削除

第16章 学内諸施設

(厚生施設)

第47条 本学に保健室等必要な厚生施設を置く。

(寄宿舎)

第48条 本学に寄宿舎を置くことができる。

2 寄宿舎に関し必要な事項は、別に定める。

(体育館)

第48条の2 本学に体育館を置く。

2 体育館に関し必要な事項は、別に定める。

(その他の厚生施設)

第49条 前3条に定めるもののほか、大学に必要な厚生施設を置くことができる。

第17章 奨学金

(奨学金)

第49条の2 本学に奨学金制度を設け、学業成績、人物ともに優秀な者又は経済的理由により修学困難な者に対しては、選考の上、学長が奨学金の授与を決定する。

2 奨学金に関し必要な事項は、別に定める。

第18章 賞罰

(表彰)

第50条 学生としての本分を全うし、特に他の模範となると認められる者があるときは、これを表彰する。

2 表彰に関し必要な事項は、別に定める。

(懲戒)

第51条 本学の学則及び訓育の趣旨に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、これを懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者について行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学業劣等で成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当な理由がなくて出席常でない者

(4) 学内の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

4 学生の処分に関し必要な事項は、別に定める。

(賞罰の決定)

第51条の2 前2条に規定する賞罰は、教授会の意見を参酌した上で、学長が決定する。

第19章 雑則

(その他の事項)

第52条 この学則に定めるもののほか、本学の教育研究に関し必要な事項は、学長が決定する。

2 前項により決定した教育研究に関わる事項は、学長発信をもって大学教職員に周知するものとする。

(学則の改正)

第53条 この学則の改正は、教授会及び大学評議会の議を経て、理事会の承認を得て行うものとする。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和40年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和42年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和48年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和49年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和50年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和51年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和52年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和53年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和54年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和55年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和56年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和57年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和59年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和60年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和61年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、昭和62年4月1日から施行する。ただし、第40条の規定にかかわらず昭和62年度から平成7年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	名
英文学科	140
国文学科	140
計	280

附 則

本学則は、昭和63年4月1日から施行する。ただし、第40条の規定にかかわらず昭和63年度から平成2年度までの間の国際文化学科の総定員は、次のとおりとする。

年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度
学科	名	名	名
国際文化学科	80	160	240

附 則

- 1 本学則は、1989年4月1日から施行する。ただし、第14条の2については、1988年4月1日から適用する。
- 2 第40条の規定にかかわらず平成元年度から平成3年度までの間の音楽学部の総定員は、次のとおりとする。

年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度
学部			
学科			
音楽学部	名	名	名
声楽学科	20	40	60
器楽学科	20	40	60
楽理学科	10	20	30
計	50	100	150

附 則

本学則は、1990年4月1日から施行する。ただし、改正後の学則第8条、第18条並びに第19条にかかわらず、1989年度以前入学生は、なお従前のおりとする。

附 則

本学則は、1991年4月1日から施行する。ただし、第40条の規定にかかわらず、1991年度から1999年度までの間の音楽学部声楽学科及び器楽学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
音楽学部	名

声楽学科	30
器楽学科	40

附 則〔1991年5月23日理事会決定〕

本学則は、1992年4月1日から施行する。

附 則〔1991年9月6日理事会決定〕

本学則は、1991年9月6日から施行する。ただし、第7条別表2のC、第18条、第37条別表4及び第43条については1992年4月1日から適用する。

附 則〔1992年2月27日理事会決定〕

本学則は、1992年4月1日から施行する。ただし、第40条及び附則（昭和62年4月1日施行）の規定にかかわらず、1992年度から1999年度までの間の文学部の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員	
	1992年度～1995年度	1996年度～1999年度
文学部	名	名
英文学科	155	135
国文学科	155	135
国際文化学科	95	95

附 則〔1992年3月24日理事会決定〕

本学則は、1992年4月1日から施行する。

附 則〔1992年7月13日理事会決定〕

- 1 本学則は、1993年4月1日から施行する。
- 2 第18条において、1992年度以前の入学生に適用する表の区分は、第3条の規定に基づき、「一般教育科目」を「共通科目」の「基礎教養科目」及び「総合課題科目」に、「保健体育科目」を「共通科目」の「基礎教養科目」に、「外国語科目」を「共通科目」の「語学科目」にそれぞれ読み替えるものとし、音楽学部の「基礎教育科目」を、「音楽学部専門科目」の該当する授業科目にそれぞれ読み替えるものとする。

附 則〔1992年7月13日理事会決定〕

- 1 本学則は、1993年3月11日から施行する。ただし、文学部国文学科の名称に関する改正規定は、1993年4月1日から施行する。
- 2 文学部国文学科は、改正後の学則の規定にかかわらず、1993年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則〔1992年7月13日理事会決定〕

本学則は、1993年3月16日から施行する。ただし、音楽学部の教育職員免許状に関する改正規定は、1993年4月1日から施行する。

附 則〔1992年9月21日理事会決定〕

本学則は、1993年4月1日から施行する。

附 則〔1993年3月22日理事会決定〕

- 1 本学則は、1993年4月1日から施行する。
- 2 第15条の規定にかかわらず、1992年度以前入学生については、授業科目の試験の成績は、A、

B、C、Fの4種類の評語をもって表わし、A、B、Cを合格とする。

附 則〔1993年12月20日理事会決定〕

この学則は、1994年4月1日から施行する。ただし、第3条の別表1のC及び別表2のA、B、C、第3条の2の別表4及び第18条第1項の文学部1993年度以降入学生に適用する表は、1993年4月1日から適用する。

附 則〔1994年5月23日理事会決定〕

この学則は、1994年5月23日から施行する。ただし、第18条第1項の文学部1991年度以前入学生及び1992年度入学生並びに音楽学部1991年度以前入学生及び1992年度入学生に適用する表中、専門教育科目の帰国子女に係る必修科目の廃止については、1994年4月1日から適用する。

附 則〔1994年10月24日理事会決定〕

この学則は、1995年4月1日から施行する。

附 則〔1995年2月28日理事会決定〕

この学則は、1995年4月1日から施行する。

附 則〔1995年3月27日理事会決定〕

この学則は、1995年4月1日から施行する。

附 則〔1995年5月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、1996年4月1日から施行する。ただし、改正後の第37条関係別表5-1に規定する入学検定料の額は、1996年度入学試験から適用する。
- 2 改正後の第2条の2及び附則(1992年4月1日施行)の規定にかかわらず、1996年度から1999年度までの間の文学部英文学科及び日本文学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	名
英文学科	155
日本文学科	155

- 3 1992年度以前入学者の卒業に必要な単位数は、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔1995年5月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、1997年4月1日から施行する。
- 2 文学部国際文化学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、1997年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 改正後の第2条の2の規定にかかわらず、1997年度から1999年度までの間の文学部英文学科及び日本文学科並びに国際交流学部国際交流学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	名
英文学科	135
日本文学科	145
国際交流学部	
国際交流学科	155

4 1993年度以前入学者及び文学部国際文化学科在学者の卒業に必要な単位数は、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔1997年2月27日理事会決定〕

- 1 この学則は、1997年4月1日から施行する。
- 2 音楽学部1993年度から1996年度入学者に適用する各学科専門科目は、改正後の第3条関係別表2にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔1997年9月8日理事会決定〕

この学則は、1998年4月1日から施行する。

附 則〔1997年12月11日理事会決定〕

この学則は、1998年4月1日から施行する。

附 則〔1998年2月26日理事会決定〕

この学則は、1998年4月1日から施行する。

附 則〔1999年2月22日理事会決定〕

この学則は、1999年4月1日から施行する。ただし、改正後の第37条関係別表5-1に規定する入学検定料の額は、1999年度入学試験から適用する。

附 則〔1999年5月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2000年4月1日から施行する。
- 2 2000年度から2003年度までの間の文学部英文学科及び日本文学科、音楽学部声楽学科及び器楽学科、国際交流学部国際交流学科の入学定員は、改正後の第2条の2の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員			
	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
文学部	名	名	名	名
英文学科	125	121	118	115
日本文学科	125	122	118	114
音楽学部				
声楽学科	29	28	27	26
器楽学科	53	51	49	47
国際交流学部				
国際交流学科	161	159	158	156

附 則〔1999年10月29日理事会決定〕

- 1 この学則は、2000年4月1日から施行する。
- 2 音楽学部1996年度以前入学者に適用する音楽学部共通専門科目は、改正後の第3条関係別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 文学部1995年度以前入学者及び音楽学部1996年度以前入学者の卒業に必要な単位は、改正後の第18条関係別表第5の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2000年2月4日理事会決定〕

この学則は、2000年4月1日から施行する。

附 則〔2001年2月19日理事会決定〕

- 1 この学則は、2001年4月1日から施行する。ただし、改正後の第35条関係別表第6に規定する入学検定料の額は、2001年度入学試験から適用する。
- 2 文学部1996年度及び1997年度入学者の卒業に必要な単位は、改正後の第18条関係別表第5の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2002年3月25日理事会決定〕

この学則は、2002年4月1日から施行する。

附 則〔2002年12月16日理事会決定〕

- 1 この学則は、2004年4月1日から施行する。
- 2 音楽学部楽理学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2004年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則〔2003年2月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2003年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第35条第4項に規定する入学検定料の減免については、2003年度入学試験から適用する。
- 3 音楽学部器楽学科2000・2001・2002年度入学者の卒業に必要な単位の改正は、2003年2月25日から施行し、2000年4月1日から適用する。

附 則〔2003年5月29日理事会決定〕

この学則は、2004年4月1日から施行する。

附 則〔2003年11月27日理事会決定〕

この学則は、2003年11月27日から施行する。

附 則〔2004年2月26日理事会決定〕

- 1 この学則は、2004年4月1日から施行する。
- 2 2003年度以前入学者の外国人留学生の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2004年3月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2005年4月1日から施行する。ただし、改正後の第35条関係別表第6に規定する入学検定料の額は、2005年度入学試験から適用する。
- 2 音楽学部声楽学科及び器楽学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2005年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 音楽学部声楽学科及び器楽学科在学者の取得できる教育職員免許状の種類は、改正後の第19条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 1996年度以前入学者の授業料等学納金については、改正後の第36条及び第36条の2関係別表第7の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 2005年度及び2006年度音楽学部3年次編入学試験に係る入学検定料の額は、改正後の第35条関係別表第6の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 2005年度及び2006年度音楽学部3年次編入学者に係る入学金及び授業料等学納金の額は、改正後の第36条及び第36条の2関係別表第7の規定にかかわらず、2004年度以前入学者に準じて

納入しなければならない。

附 則〔2005年2月24日理事会決定〕

- 1 この学則は、2005年4月1日から施行する。
- 2 2003年度以前入学者及び2004年度入学者の外国人留学生の卒業に必要な単位は、それぞれ改正後の第18条の2の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2005年3月24日理事会決定〕

この学則は、2005年4月1日から施行する。

附 則〔2005年3月24日理事会決定〕

この学則は、2006年4月1日から施行し、2006年度入学試験から適用する。

附 則〔2005年9月5日理事会決定〕

この学則は、2006年4月1日から施行する。

附 則〔2006年2月23日理事会決定〕

この学則は、2006年4月1日から施行する。

附 則〔2006年3月23日理事会決定〕

この学則は、2007年4月1日から施行し、2007年度入学試験から適用する。

附 則〔2006年10月26日理事会決定〕

この学則は、2007年4月1日から施行する。

附 則〔2007年2月22日理事会決定〕

- 1 この学則は、2007年4月1日から施行する。ただし、改正後の第36条及び第36条の2に規定する納入方法は、2007年度入学試験より適用する。
- 2 2006年度以前入学者の授業料等学納金については、改正後の第36条及び第36条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 2007年度及び2008年度3年次編入学者の施設設備費の納入については、改正後の第36条及び第36条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 2007年度2年次編入学者の施設設備費納入については、改正後の第36条及び第36条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2007年3月22日理事会決定〕

この学則は、2007年4月1日から施行する。

附 則〔2007年3月22日理事会決定〕

この学則は、2008年4月1日から施行し、2008年度入学試験から適用する。

附 則〔2008年2月28日理事会決定〕

この学則は、2008年4月1日から施行する。

附 則〔2008年3月27日理事会決定〕

この学則は、2008年4月1日から施行し、2008年度入学者から適用する。

附 則〔2009年2月26日理事会決定〕

この学則は、2009年4月1日から施行する。

附 則〔2009年5月28日理事会決定〕

この学則は、2010年4月1日から施行する。

附 則〔2010年2月25日理事会決定〕

この学則は、2010年4月1日から施行する。

附 則〔2010年3月25日理事会決定〕

この学則は、2011年4月1日から施行し、2011年度入学試験から適用する。

附 則〔2010年10月28日理事会決定〕

この学則は、2011年4月1日から施行する。

附 則〔2011年2月24日理事会決定〕

この学則は、2011年4月1日から施行する。

附 則〔2012年2月23日理事会決定〕

この学則は、2012年4月1日から施行する。

附 則〔2012年3月22日理事会決定〕

この学則は、2012年4月1日から施行する。

附 則〔2012年10月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2014年4月1日から施行する。
- 2 文学部英文学科及び日本文学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2014年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 文学部英文学科及び日本文学科在学者の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 文学部英文学科在学者の外国人留学生の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の2第4項の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 文学部英文学科及び日本文学科在学者の取得できる教育職員免許状の種類は、改正後の第19条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2013年2月28日理事会決定〕

- 1 この学則は、2013年2月28日から施行し、2011年4月1日から適用する。
- 2 前項の規定にかかわらず、改正後の第3条関係別表第1-Cに規定する「フランス語Ⅱs(L L)」「ドイツ語Ⅱs(L L)」「スペイン語Ⅱs(L L)」「中国語Ⅱs(L L)」「朝鮮語Ⅱs(L L)」については、2003年4月1日から適用する。

附 則〔2013年2月28日理事会決定〕

この学則は、2013年4月1日から施行する。

附 則〔2013年2月28日理事会決定〕

この学則は、2014年4月1日から施行し、2014年度入学試験から適用する。

附 則〔2014年3月27日理事会決定〕

この学則は、2014年4月1日から施行する。

附 則〔2014年10月23日理事会決定〕

この学則は、2016年4月1日から施行し、2016年度入学試験から適用する。

附 則〔2015年2月26日理事会決定〕

この学則は、2015年4月1日から施行する。

附 則〔2015年3月26日理事会決定〕

この学則は、2015年4月1日から施行する。

附 則〔2016年3月24日理事会決定〕

- 1 この学則は、2016年4月1日から施行する。
- 2 2017年度編入学者及び2018年度3年次編入学者の入学金及び学納金については、改正後の第36条の5の規定により、改正後の第36条の4関係別表第7-1を適用する。

附 則〔2016年5月26日理事会決定〕

この学則は、2017年4月1日から施行する。

附 則〔2017年2月23日理事会決定〕

- 1 この学則は、2017年4月1日から施行する。
- 2 2016年度以前に入学した者の第3条第2項の適用については、なお従前の例による。

附 則〔2018年2月22日理事会決定〕

- 1 この学則は、2018年4月1日から施行する。ただし、改正後の第18条の3に規定する外国人留学生の卒業に必要な単位及び改正後の第18条関係別表第5に規定する卒業に必要な単位は2017年4月1日から適用する。
- 2 2016年度以前入学の外国人留学生の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2018年2月22日理事会決定〕

- 1 この学則は、2019年4月1日から施行する。
- 2 音楽学部演奏学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2019年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 音楽学部演奏学科在学者の取得できる教育職員免許状の種類は、改正後の第19条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 音楽学部演奏学科編入学試験に係る入学検定料の額は、改正後の第35条関係別表第6の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2018年3月22日理事会決定〕

この学則は、2018年3月22日から施行し、2017年7月1日から適用する。

附 則〔2018年10月25日理事会決定〕

この学則は、2019年4月1日から施行する。

附 則〔2019年2月28日理事会決定〕

この学則は、2019年4月1日から施行する。

附 則〔2020年2月27日理事会決定〕

この学則は、2020年4月1日から施行する。

附 則〔2020年3月26日理事会決定〕

この学則は、2020年4月1日から施行する。

附 則〔2021年2月25日理事会決定〕

この学則は、2021年4月1日から施行する。

附 則〔2021年3月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2021年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、改正後の第3条関係別表第1-Dに規定する「英語e (Extensive Reading)」については、2015年4月1日から適用する。

附 則〔2022年2月24日理事会決定〕

この学則は、2022年4月1日から施行する。

附 則〔2023年3月23日理事会決定〕

この学則は、2023年4月1日から施行する。

附 則〔2024年2月29日理事会決定〕

この学則は、2024年4月1日から施行する。ただし、改正後の第25条に規定する入学資格は、2024年度入学試験から適用する。

別表第1（第3条関係）

共通科目

（ ）内は単位数

A 基礎教養科目
2016年度以前入学者

キリスト教概論	(2)	一神教概論	(2)
哲学A	(2)	ジェンダー&セクシュアリティ入門	(2)
哲学B	(2)	ボランティア活動（短期）	(1)
心理学	(2)	ボランティア活動（中期）	(2)
青年心理	(2)	ボランティア活動（長期）	(6)
ジェンダーと教育の歴史	(2)	美術芸術論	(2)
ジェンダー特論	(2)	デザインと表現	(2)
ジェンダーと人権	(2)	デザイン概論	(2)
ジェンダーから学ぶ現代社会	(2)	ことばとデザイン	(2)
男性学	(2)	メディア・デザイン	(2)
グローバリゼーションとジェンダー	(2)	ファッションデザイン論	(2)
男女共同参画政策	(2)	コピーライティング演習	(2)
地域社会と女性リーダー	(2)	科学技術入門	(2)
プロジェクトで学ぶ	(1)	数学の基礎	(2)
今年の一冊	(2)	情報科学：コンピュータと社会	(2)
アカデミック・ライティング	(2)	情報科学：ソフトウェアとビジネス	(2)
プレゼンテーションのスキル	(2)	情報リテラシー：コンピュータサイエンス入門	(2)
情報とメディアのリテラシー	(2)	情報リテラシー：データサイエンス入門	(2)
読書とメディア	(2)	健康・スポーツ論	(2)
日本国憲法	(2)	スポーツ実習	(1)

B 総合課題科目
2016年度以前入学者

キリスト教教学	(2)	キャリアデザインとウェルビーイング	(2)
フェリス女学院とキリスト教	(2)	キャリア実習（短期就業体験）	(1)
ディスカッションのスキル	(2)	キャリア実習（短期インターンシップ）	(1)
市民活動の役割と意義	(2)	キャリア実習（長期就業体験）	(2)
キャリア形成の基礎	(2)	キャリア実習（長期インターンシップ）	(2)
キャリア形成の意義	(2)	生命科学と倫理	(2)
キャリア形成の諸問題	(2)	私たちが学びたいこと	(2)
キャリア形成の実際	(2)	学びの世界を広げる	(2)

C CLAコア科目
2017年度以降入学者

キリスト教概論	(2)	ジェンダーから学ぶ現代社会	(2)
キリスト教教学	(2)	男性学	(2)
哲学A	(2)	グローバリゼーションとジェンダー	(2)
哲学B	(2)	男女共同参画政策	(2)
心理学	(2)	地域社会と女性リーダー	(2)
青年心理	(2)	プロジェクトで学ぶ	(1)
ジェンダーと教育の歴史	(2)	美術芸術論	(2)
ジェンダー特論	(2)	デザインと表現	(2)
ジェンダーと人権	(2)	デザイン概論	(2)

ことばとデザイン	(2)	今年の一冊	(2)
メディア・デザイン	(2)	ボランティア活動 (短期)	(1)
ファッションデザイン論	(2)	ボランティア活動 (中期)	(2)
コピーライティング演習	(2)	ボランティア活動 (長期)	(6)
生命科学と倫理	(2)	市民活動の役割と意義	(2)
日本国憲法	(2)	情報リテラシー：コンピュータサイエンス入門	(2)
一神教概論	(2)	情報リテラシー：データサイエンス入門	(2)
ジェンダー&セクシュアリティ入門	(2)	キャリア形成の基礎	(2)
数学の基礎	(2)	キャリア形成の意義	(2)
科学技術入門	(2)	キャリア形成の諸問題	(2)
情報科学：コンピュータと社会	(2)	キャリア形成の実際	(2)
情報科学：ソフトウェアとビジネス	(2)	キャリアデザインとウェルビーイング	(2)
健康・スポーツ論	(2)	キャリア実習 (短期就業体験)	(1)
スポーツ実習	(1)	キャリア実習 (短期インターンシップ)	(1)
アカデミック・ライティング	(2)	キャリア実習 (長期就業体験)	(2)
プレゼンテーションのスキル	(2)	キャリア実習 (長期インターンシップ)	(2)
アカデミック・ライティング入門	(2)	私たちが学びたいこと	(2)
情報リテラシー基礎	(2)	学びの世界を広げる	(2)
ディスカッションのスキル	(2)	フェリス女学院とキリスト教	(2)
情報とメディアのリテラシー	(2)	プロジェクト演習	(1)
読書とメディア	(2)		

D 語学科目

英語 I s (読む・書く)	(1)	英語e (English through Movies)	(1)
英語 I s (聞く・話す)	(1)	英語e (English through Music:Basic)	(1)
英語 II i (分析・理解)	(2)	英語e (Extensive Reading)	(1)
英語 II i (発信・表現)	(2)	英語e (Grammar:Basic)	(1)
英語 II i (プロジェクト)	(1)	英語e (IELTS Preparation I)	(1)
英語 II s (読む・書く)	(1)	英語e (IELTS Preparation II)	(1)
英語 II s (聞く・話す)	(1)	英語e (News and Views)	(1)
英語 III i (分析・理解)	(2)	英語e (Pre-Study Abroad: Basic)	(1)
英語 III i (発信・表現)	(2)	英語e (Pronunciation:Basic)	(1)
英語 III i (プロジェクト)	(1)	英語e (Songs and Poems)	(1)
英語 III s (読む・書く)	(1)	英語e (Special Topic)	(1)
英語 III s (聞く・話す)	(1)	英語e (Speech and Debate)	(1)
英語 IV i (分析・理解)	(2)	英語e (TOEFL-iBT Preparation I)	(1)
英語 IV i (発信・表現)	(2)	英語e (TOEFL-iBT Preparation II:	
英語 IV i (プロジェクト)	(1)	Listening/Speaking)	(1)
英語 IV s (読む・書く)	(1)	英語e (TOEFL-iBT Preparation II:	
英語 IV s (聞く・話す)	(1)	Reading/Writing)	(1)
英語 V i (プロジェクト)	(1)	英語e (TOEIC Preparation I)	(1)
英語e (Academic Listening)	(1)	英語e (TOEIC Preparation II:Listening)	(1)
英語e (Academic Reading)	(1)	英語e (TOEIC Preparation II:Reading)	(1)
英語e (Academic Reading:Advanced)	(1)	英語e (TOEIC Preparation III)	(1)
英語e (Business Communication)	(1)	英語e (Vocabulary)	(1)
英語e (Conversation Skills:Basic)	(1)	英語e (Writing Skills)	(1)
英語e (Conversation Skills:Advanced)	(1)	フランス語 I (入門)	(1)
英語e (Creative Writing)	(1)	フランス語 II i (文法)	(3)
英語e (Discussion and Debate)	(1)	フランス語 II i (読む1)	(1)
英語e (EIKEN Grade 2 Preparation)	(1)	フランス語 II i (読む2)	(1)
英語e (EIKEN Grade Pre-1 Preparation)	(1)	フランス語 II i (L L)	(1)

フランス語Ⅱs (文法)	(1)	ドイツ語Ⅳi (書く)	(1)
フランス語Ⅱs (読む)	(1)	ドイツ語Ⅳi (LL)	(1)
フランス語Ⅱs (LL)	(1)	ドイツ語Ⅳs (読む)	(1)
フランス語Ⅲi (文法)	(2)	ドイツ語Ⅳs (話す)	(1)
フランス語Ⅲi (読む)	(1)	ドイツ語Ⅳs (LL)	(1)
フランス語Ⅲi (話す)	(1)	ドイツ語Ⅴi (読む)	(1)
フランス語Ⅲi (書く)	(1)	ドイツ語Ⅴi (話す)	(1)
フランス語Ⅲi (LL)	(1)	ドイツ語Ⅴi (書く)	(1)
フランス語Ⅲs (文法)	(1)	ドイツ語Ⅴi (LL)	(1)
フランス語Ⅲs (読む)	(1)	ドイツ語Ⅴi (総合)	(1)
フランス語Ⅲs (話す)	(1)	ドイツ語Ⅵi (読む)	(1)
フランス語Ⅲs (LL)	(1)	ドイツ語Ⅵi (話す)	(1)
フランス語Ⅳi (読む1)	(1)	ドイツ語Ⅵi (書く)	(1)
フランス語Ⅳi (読む2)	(1)	ドイツ語Ⅵi (LL)	(1)
フランス語Ⅳi (話す)	(1)	ドイツ語Ⅵi (総合)	(1)
フランス語Ⅳi (書く)	(1)	海外語学実習 (ドイツ語)	(2)
フランス語Ⅳi (LL)	(1)	スペイン語Ⅰ (入門)	(1)
フランス語Ⅳs (読む)	(1)	スペイン語Ⅱi (文法)	(3)
フランス語Ⅳs (話す)	(1)	スペイン語Ⅱi (読む1)	(1)
フランス語Ⅳs (LL)	(1)	スペイン語Ⅱi (読む2)	(1)
フランス語Ⅴi (読む)	(1)	スペイン語Ⅱi (LL)	(1)
フランス語Ⅴi (話す)	(1)	スペイン語Ⅱs (文法)	(1)
フランス語Ⅴi (書く)	(1)	スペイン語Ⅱs (読む)	(1)
フランス語Ⅴi (LL)	(1)	スペイン語Ⅱs (LL)	(1)
フランス語Ⅴi (総合)	(1)	スペイン語Ⅲi (文法)	(2)
フランス語Ⅵi (読む)	(1)	スペイン語Ⅲi (読む)	(1)
フランス語Ⅵi (話す)	(1)	スペイン語Ⅲi (話す)	(1)
フランス語Ⅵi (書く)	(1)	スペイン語Ⅲi (書く)	(1)
フランス語Ⅵi (LL)	(1)	スペイン語Ⅲi (LL)	(1)
フランス語Ⅵi (総合)	(1)	スペイン語Ⅲs (文法)	(1)
海外語学実習 (フランス語)	(2)	スペイン語Ⅲs (読む)	(1)
ドイツ語Ⅰ (入門)	(1)	スペイン語Ⅲs (話す)	(1)
ドイツ語Ⅱi (文法)	(3)	スペイン語Ⅲs (LL)	(1)
ドイツ語Ⅱi (読む1)	(1)	スペイン語Ⅳi (読む1)	(1)
ドイツ語Ⅱi (読む2)	(1)	スペイン語Ⅳi (読む2)	(1)
ドイツ語Ⅱi (LL)	(1)	スペイン語Ⅳi (話す)	(1)
ドイツ語Ⅱs (文法)	(1)	スペイン語Ⅳi (書く)	(1)
ドイツ語Ⅱs (読む)	(1)	スペイン語Ⅳi (LL)	(1)
ドイツ語Ⅱs (LL)	(1)	スペイン語Ⅳs (読む)	(1)
ドイツ語Ⅲi (文法)	(2)	スペイン語Ⅳs (話す)	(1)
ドイツ語Ⅲi (読む)	(1)	スペイン語Ⅳs (LL)	(1)
ドイツ語Ⅲi (話す)	(1)	スペイン語Ⅴi (読む)	(1)
ドイツ語Ⅲi (書く)	(1)	スペイン語Ⅴi (話す)	(1)
ドイツ語Ⅲi (LL)	(1)	スペイン語Ⅴi (書く)	(1)
ドイツ語Ⅲs (文法)	(1)	スペイン語Ⅴi (LL)	(1)
ドイツ語Ⅲs (読む)	(1)	スペイン語Ⅴi (総合)	(1)
ドイツ語Ⅲs (話す)	(1)	スペイン語Ⅵi (読む)	(1)
ドイツ語Ⅲs (LL)	(1)	スペイン語Ⅵi (話す)	(1)
ドイツ語Ⅳi (読む1)	(1)	スペイン語Ⅵi (書く)	(1)
ドイツ語Ⅳi (読む2)	(1)	スペイン語Ⅵi (LL)	(1)
ドイツ語Ⅳi (話す)	(1)	スペイン語Ⅵi (総合)	(1)

海外語学実習 (スペイン語)	(2)	朝鮮語Ⅲi (文法)	(2)
中国語Ⅰ (入門)	(1)	朝鮮語Ⅲi (読む)	(1)
中国語Ⅱi (文法)	(3)	朝鮮語Ⅲi (話す)	(1)
中国語Ⅱi (読む1)	(1)	朝鮮語Ⅲi (書く)	(1)
中国語Ⅱi (読む2)	(1)	朝鮮語Ⅲi (LL)	(1)
中国語Ⅱi (LL)	(1)	朝鮮語Ⅲs (文法)	(1)
中国語Ⅱs (文法)	(1)	朝鮮語Ⅲs (読む)	(1)
中国語Ⅱs (読む)	(1)	朝鮮語Ⅲs (話す)	(1)
中国語Ⅱs (LL)	(1)	朝鮮語Ⅲs (LL)	(1)
中国語Ⅲi (文法)	(2)	朝鮮語Ⅳi (読む1)	(1)
中国語Ⅲi (読む)	(1)	朝鮮語Ⅳi (読む2)	(1)
中国語Ⅲi (話す)	(1)	朝鮮語Ⅳi (話す)	(1)
中国語Ⅲi (書く)	(1)	朝鮮語Ⅳi (書く)	(1)
中国語Ⅲi (LL)	(1)	朝鮮語Ⅳi (LL)	(1)
中国語Ⅲs (文法)	(1)	朝鮮語Ⅳs (読む)	(1)
中国語Ⅲs (読む)	(1)	朝鮮語Ⅳs (話す)	(1)
中国語Ⅲs (話す)	(1)	朝鮮語Ⅳs (LL)	(1)
中国語Ⅲs (LL)	(1)	朝鮮語Ⅴi (読む)	(1)
中国語Ⅳi (読む1)	(1)	朝鮮語Ⅴi (話す)	(1)
中国語Ⅳi (読む2)	(1)	朝鮮語Ⅴi (書く)	(1)
中国語Ⅳi (話す)	(1)	朝鮮語Ⅴi (LL)	(1)
中国語Ⅳi (書く)	(1)	朝鮮語Ⅴi (総合)	(1)
中国語Ⅳi (LL)	(1)	朝鮮語Ⅵi (読む)	(1)
中国語Ⅳs (読む)	(1)	朝鮮語Ⅵi (話す)	(1)
中国語Ⅳs (話す)	(1)	朝鮮語Ⅵi (書く)	(1)
中国語Ⅳs (LL)	(1)	朝鮮語Ⅵi (LL)	(1)
中国語Ⅴi (読む)	(1)	朝鮮語Ⅵi (総合)	(1)
中国語Ⅴi (話す)	(1)	海外語学実習 (朝鮮語)	(2)
中国語Ⅴi (書く)	(1)	古典ギリシア語Ⅰ (文法)	(1)
中国語Ⅴi (LL)	(1)	古典ギリシア語Ⅱ (文法)	(1)
中国語Ⅴi (総合)	(1)	古典ギリシア語Ⅲ (読む)	(1)
中国語Ⅵi (読む)	(1)	古典ギリシア語Ⅳ (読む)	(1)
中国語Ⅵi (話す)	(1)	ラテン語Ⅰ (文法)	(1)
中国語Ⅵi (書く)	(1)	ラテン語Ⅱ (文法)	(1)
中国語Ⅵi (LL)	(1)	ラテン語Ⅲ (読む)	(1)
中国語Ⅵi (総合)	(1)	ラテン語Ⅳ (読む)	(1)
海外語学実習 (中国語)	(2)	イタリア語Ⅰ (基礎)	(1)
朝鮮語Ⅰ (入門)	(1)	イタリア語Ⅱ (文法)	(1)
朝鮮語Ⅱi (文法)	(3)	イタリア語Ⅱ (読む)	(1)
朝鮮語Ⅱi (読む1)	(1)	イタリア語Ⅲ (文法)	(1)
朝鮮語Ⅱi (読む2)	(1)	イタリア語Ⅲ (読む)	(1)
朝鮮語Ⅱi (LL)	(1)	イタリア語Ⅳ (読む)	(1)
朝鮮語Ⅱs (文法)	(1)	イタリア語Ⅳ (話す)	(1)
朝鮮語Ⅱs (読む)	(1)	日本語Ⅰ	(1)
朝鮮語Ⅱs (LL)	(1)	日本語Ⅱ	(1)

別表第2 (第3条関係)

専門科目

() 内は単位数

A 文学部英語英米文学科

R & R (入門ゼミ)	(1)	イギリス研究入門1	(2)
英米文化基礎ゼミ	(1)	イギリス研究入門2	(2)

イギリス研究入門 3	(2)	イギリス詩 2	(2)
イギリス研究入門 4	(2)	イギリス詩 3	(2)
イギリス研究入門 5	(2)	イギリス演劇 1	(2)
アメリカ研究入門 1	(2)	イギリス演劇 2	(2)
アメリカ研究入門 2	(2)	イギリス演劇 3	(2)
アメリカ研究入門 3	(2)	イギリス小説 1	(2)
アメリカ研究入門 4	(2)	イギリス小説 2	(2)
英語学研究入門	(2)	イギリス小説 3	(2)
英語学研究入門 2	(2)	イギリス伝承文学 1	(2)
英米文化専門講読 1	(2)	イギリス伝承文学 2	(2)
英米文化専門講読 2	(2)	イギリス伝承文学 3	(2)
英米文化専門講読 3	(2)	イギリス伝承文学 4	(2)
英米文化専門講読 4	(2)	イギリス文化史	(2)
英米文化専門講読 5	(2)	イギリスの芸術	(2)
英米文化専門講読 6	(2)	アメリカ文学史	(2)
英米文化専門講読 7	(2)	アメリカ詩	(2)
英米文化専門講読 8	(2)	アメリカ演劇	(2)
英米文化専門講読 9	(2)	アメリカ小説 1	(2)
英米文化専門講読 10	(2)	アメリカ小説 2	(2)
英米文化専門講読 11	(2)	アメリカ小説 3	(2)
Academic Writing	(2)	キリスト教と英米文学 1	(2)
Global Issues 1	(2)	キリスト教と英米文学 2	(2)
Global Issues 2	(2)	英米文化特論 1	(2)
Business Communication	(2)	英米文化特論 2	(2)
Literature and Culture 1	(2)	英米文化特論 3	(2)
Literature and Culture 2	(2)	英米文化特論 4	(2)
English for Children 1	(2)	英米文化特論 5	(2)
English for Children 2	(2)	英米文化特論 6	(2)
英米文化発展ゼミ	(2)	英米芸術史	(2)
イギリス史 1	(2)	英語圏の映画と映像	(2)
イギリス史 2	(2)	英語圏の映画と映像 2	(2)
イギリス史	(2)	英語圏の映画と映像 3	(2)
イギリスの政治と社会 1	(2)	英語圏の映画と映像 4	(2)
イギリスの政治と社会 2	(2)	英語の歴史	(2)
イギリスの思想と宗教	(2)	英語学	(2)
イギリスの文化	(2)	第二言語習得論から見る英語学習	(2)
現代イギリス論	(2)	英語のナラティブ分析	(2)
アメリカ史	(2)	英語と社会・文化	(2)
アメリカ社会史	(2)	英語と社会・文化 2	(2)
アメリカの政治	(2)	日英語の発想と表現	(2)
アメリカの外交	(2)	Thought and Expression in English	(2)
アメリカの思想と宗教	(2)	英語学特論 1	(2)
アメリカの文化 1	(2)	英語学特論 2	(2)
アメリカの文化 2	(2)	英語学特論 3	(2)
現代アメリカ論 1	(2)	Pronunciation Clinic	(2)
現代アメリカ論 2	(2)	翻訳技法	(2)
カナダの社会	(2)	通訳技法	(2)
オーストラリアの社会と文化 1	(2)	同時通訳技法 1	(2)
オーストラリアの社会と文化 2	(2)	同時通訳技法 2	(2)
イギリス文学史	(2)	Focus on Listening and Reading	(2)
イギリス詩 1	(2)	Writing Workshop	(2)

Academic Skills	(2)	英米文化専門ゼミ A	(1)
Academic Skills 1	(2)	英米文化専門ゼミ B	(1)
Academic Skills 2	(2)	英米文化卒論ゼミ A	(1)
Academic Skills 3	(2)	英米文化卒論ゼミ B	(1)
Academic Skills 4	(2)	卒業論文	(6)
Academic Skills 5	(2)	Summer Abroad (UK)	(2)
Academic Skills 6	(2)	Summer Abroad (US)	(2)
Academic Skills 7	(2)	Spring Abroad	(2)
英語集中セミナー1	(1)	Field Study 1	(1)
英語集中セミナー2	(1)	Field Study 2	(1)

B 文学部日本語日本文学科

R & R (入門ゼミ)	(1)	近世文学研究の方法	(2)
日本語日本文学基礎ゼミ	(1)	近現代文学研究の方法	(2)
日本語学概論 A	(2)	漢文学研究の方法	(2)
日本語学概論 B	(2)	日本語の形態と構文	(2)
日本語の歴史 A	(2)	日本語の意味と語彙	(2)
日本語の歴史 B	(2)	日本語の音声とアクセント	(2)
日本語教育学概論 A	(2)	日本語の文体と語法	(2)
日本語教育学概論 B	(2)	日本の漢字と国語辞書	(2)
日本古典文学史 (古代)	(2)	日本語の敬語	(2)
日本古典文学史 (中近世)	(2)	方言と社会言語学	(2)
日本近代文学史 A	(2)	日本語自然言語処理入門	(2)
日本近代文学史 B	(2)	日本語教育文法	(2)
漢文学概説 A	(2)	日本語学習のコースデザイン	(2)
漢文学概説 B	(2)	日本語教育の教材分析	(2)
言語学概説	(2)	日本語教授法 A	(2)
基礎論文演習 (文章表現)	(1)	日本語教授法 B	(2)
書誌学・くずし字の基礎	(2)	音声教育法	(2)
古典読解の基礎	(2)	日本語教育のための異文化理解	(2)
漢文読解の基礎	(2)	第二言語習得論	(2)
文学理論の基礎	(2)	地域日本語教育実習	(2)
日本史の基礎 (古代～近世)	(2)	年少者日本語教育実習	(2)
日本史の基礎 (近現代)	(2)	日本語教育実習 1	(1)
日本語日本文学プレ専門ゼミ 1	(2)	日本語教育実習 2	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ 2	(2)	神話の世界	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ 3	(2)	古代和歌の世界	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ 4	(2)	物語の世界	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ 5	(2)	日記の世界	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ 6	(2)	随筆の世界	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ 7	(2)	軍記の世界	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ 8	(2)	説話の世界	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ 9	(2)	中世和歌の世界	(2)
日本語文法研究の方法	(2)	近世小説の世界	(2)
日本語語彙研究の方法	(2)	俳諧の世界	(2)
日本語音声研究の方法	(2)	近代小説の世界	(2)
方言研究の方法	(2)	現代小説の世界	(2)
日本語教育研究の方法	(2)	近現代詩歌の世界	(2)
上代文学研究の方法	(2)	同時代文学の世界	(2)
中古文学研究の方法	(2)	能・狂言の世界	(2)
中世文学研究の方法	(2)	歌舞伎の世界	(2)
		浄瑠璃の世界	(2)

寄席芸能の世界	(2)	マンガ・アニメ文化を読み解く	(2)
少女歌劇の世界	(2)	日本伝統文化を学ぶ	(2)
近現代演劇の世界	(2)	小説創作を学ぶ	(2)
漢字の世界	(2)	現代詩創作を学ぶ	(2)
漢詩漢文の世界	(2)	短歌・俳句創作を学ぶ	(2)
日中比較言語・文学の世界	(2)	報道文を学ぶ	(2)
書道芸術の世界	(2)	編集を学ぶ	(2)
近代日本語の世界	(2)	朗読・アナウンスを学ぶ	(2)
書道	(1)	世界の中の日本文学を学ぶ	(2)
文字と文学	(2)	日本語日本文学専門ゼミA	(1)
文学と子ども	(2)	日本語日本文学専門ゼミB	(1)
地域文化を読み解く	(2)	日本語日本文学卒論ゼミA	(1)
民俗文化を読み解く	(2)	日本語日本文学卒論ゼミB	(1)
絵巻・絵図を読み解く	(2)	卒業論文	(6)
映画・映像を読み解く	(2)		

C 文学部コミュニケーション学科

R&R(入門ゼミ)	(1)	身体としぐさの心理学	(2)
コミュニケーション基礎ゼミ	(1)	英語学研究入門	(2)
言語コミュニケーション概論	(2)	日本語学概論A	(2)
社会コミュニケーション概論	(2)	日本語学概論B	(2)
文化コミュニケーション概論	(2)	日本語の歴史A	(2)
心理コミュニケーション概論	(2)	日本語の歴史B	(2)
コミュニケーション概論A	(2)	日本語の文体と語法	(2)
コミュニケーション概論B	(2)	日本語の形態と構文	(2)
コミュニケーション研究方法の全体像	(2)	日本語文法論とコミュニケーション	(2)
心理学実験演習	(4)	日本語音声とコミュニケーション	(2)
社会・心理調査の方法	(2)	歴史言語コミュニケーション概説	(2)
インタビュー・面接のスキル	(2)	多文化・多言語社会を考える	(2)
話しことばを分析する	(2)	クレオール文化の考え方・読み方	(2)
文献・情報の集め方	(2)	先住民の言語・文化と共生	(2)
データを数量から読み解く	(2)	コミック『ゴールデンカムイ』で学ぶ多文化共生	(2)
フィールドワークとエスノグラフィー	(2)	ことばと個人・社会の因果関係を探る	(2)
フィールドワークとライフストーリー分析を学ぶ	(2)	コンピューターによる日本語自然言語処理の基礎	(2)
テキストの批判的解釈のための方法	(2)	英語学特論1	(2)
コミュニケーション学探求1	(2)	異文化のコミュニケーション	(2)
コミュニケーション学探求2	(2)	異文化コミュニケーションの理論と実践	(2)
コミュニケーション学探求3	(2)	文化の心理学	(2)
コミュニケーション学探求4	(2)	これからの多文化教育	(2)
コミュニケーション学探求5	(2)	アジアとの出会いと異文化体験	(2)
コミュニケーション学探求6	(2)	多文化社会の人間学	(2)
コミュニケーション学探求7	(2)	多文化体験としての都市フィールドワーク	(2)
コミュニケーション学探求8	(2)	異文化トレーニング	(2)
コミュニケーション学探求10	(2)	ディアスポラ(離散)の思想	(2)
コミュニケーション学探求11	(2)	ことばのフィールドワーク	(2)
対人コミュニケーションの心理学	(2)	エスニックマイノリティの問題を考えるA	(2)
ことばと記号のコミュニケーション	(2)	エスニックマイノリティの問題を考えるB	(2)
言語行動学	(2)	共生社会論	(2)
社会的行為としてのコミュニケーション	(2)	舞踊の文化人類学	(2)
マスコミュニケーションと情報社会	(2)	グローバル化する人の移動の社会学	(2)
政治コミュニケーション概説	(2)	子どもの発達とこれからの教育問題	(2)
組織の中の人間関係と心理	(2)	これからの家族問題A	(2)

これからの家族問題B	(2)	Excelによるデータ分析(ベイズ推定による予測)	(2)
健康・医療におけるコミュニケーションの心理と諸問題	(2)	PythonとC#による日本語自然言語処理プログラミング	(2)
H I V・難病問題と向き合う	(2)	原因と結果のデータ分析(AMOSによる共分散構造分析)	(2)
P T S Dと被害者の心理・グリーフワーク	(2)	文献・情報にアクセスする	(2)
ジェンダー問題と男女共同参画社会	(2)	映像取材A	(2)
障害者の心理学と共生社会	(2)	映像取材B	(2)
エイジングの心理学と高齢社会	(2)	マルチメディア制作 I (CG・DTP編集)	(2)
「日本におけるアジア」とのネットワーク	(2)	マルチメディア分析	(2)
ファシリテーターの理論と実践A	(2)	テキスト分析(Web上データの潜在意味分析)	(2)
ファシリテーターの理論と実践B	(2)	マルチメディア制作 II (情報デザイン) A	(2)
ファシリテーターの理論と実践	(2)	マルチメディア制作 II (情報デザイン) B	(2)
視覚障害の理解と点字の技法A	(2)	プレゼンテーションの方法A	(2)
視覚障害の理解と点字の技法B	(2)	プレゼンテーションの方法B	(2)
聴覚障害の理解と手話の技法A	(2)	取材と記事のレッスン	(2)
聴覚障害の理解と手話の技法B	(2)	編集デザインスキル	(2)
共生のフィールドワーク	(4)	編集的思考入門	(2)
メディアリテラシーを身につける	(2)	ディベートと自己主張	(2)
放送文化と制度を考える	(2)	ビジネス・コミュニケーションスキル	(2)
新聞・出版ワークショップ	(2)	コミュニケーションスキルトレーニングの技法	(2)
ジャーナリズム論	(2)	身体表現論	(2)
ケアメディア論	(2)	ファッション文化	(2)
マルチメディアの現在と未来	(2)	スポーツ文化	(2)
物語論	(2)	現代人と宗教	(2)
絵画分析	(2)	映画・映像文化	(2)
物語の力を分析する	(2)	広告とマーケティング	(2)
ゲームの魅力を分析する	(2)	英語と社会・文化	(2)
日本語の意味と語彙	(2)	英語と社会・文化2	(2)
日本語の敬語	(2)	コミュニケーション専門ゼミ I A	(1)
ネットワークによるコミュニケーションの構築	(2)	コミュニケーション専門ゼミ I B	(1)
行動科学のためのデータ解析(SPSSによる統計・解析)	(2)	コミュニケーション専門ゼミ II A	(1)
コンピュータによる調査データの解析A	(2)	コミュニケーション専門ゼミ II B	(1)
コンピュータによる調査データの解析B	(2)	卒業論文・卒業制作	(6)

D 音楽学部音楽芸術学科
2018年度以前入学者

音楽の基礎知識	(2)	キリスト教音楽実践A	(2)
音楽基礎理論	(2)	キリスト教音楽実践B	(2)
合唱 I A	(1)	キリスト教音楽研究A	(2)
合唱 I B	(1)	キリスト教音楽研究B	(2)
基礎声楽A	(1)	コード理論A	(2)
基礎声楽B	(1)	コード理論B	(2)
基礎ピアノA	(1)	伴奏法A	(1)
基礎ピアノB	(1)	伴奏法B	(1)
和声A	(2)	旋律学	(2)
和声B	(2)	共演芸術 1 A	(2)
ソルフェージュA	(1)	共演芸術 1 B	(2)
ソルフェージュB	(1)	共演芸術 2 A	(2)
賛美歌学	(2)	共演芸術 2 B	(2)
キリスト教音楽概論	(2)	即興演奏ワークショップ	(2)
賛美歌を作ろう	(2)	演奏表現ワークショップ(クラシック)	(2)

ジャズ・ヴォーカル・ワークショップ	(2)	合奏	(1)
合唱ⅡA	(1)	音楽と身体表現	(2)
合唱ⅡB	(1)	音楽と脳科学	(2)
合唱ⅢA	(1)	指揮法	(2)
合唱ⅢB	(1)	音楽ジャーナリズム	(2)
身体の科学	(2)	医療と音楽	(2)
英語で音楽理論	(2)	心と音楽	(2)
ポピュラー音楽理論	(2)	音楽療法1	(2)
邦楽1	(1)	音楽療法2	(2)
邦楽2	(1)	基礎演習	(1)
編曲のテクニック	(2)	応用演習	(1)
西洋音楽通史	(4)	専門ゼミⅠ	(1)
日本音楽通史	(4)	専門ゼミⅡ	(1)
諸民族の音楽	(2)	専門ゼミⅢ	(1)
文学と音楽	(2)	専門ゼミⅣ	(1)
吹奏楽概論	(2)	学外公开发表Ⅰ	(1)
世界のポピュラー音楽	(2)	学外公开发表Ⅱ	(1)
音楽スペシャル講義	(2)	公开发表・公開演奏	(1)
ポピュラー音楽史	(2)	海外音楽研修	(2)
公開講座・コンサート鑑賞	(2)	卒業プロジェクト	(6)
ヨーロッパの劇場と文化	(2)	PA教職実技(声楽)	(1)
現代音楽レパートリー	(2)	PA教職実技(ピアノ)	(1)
音楽とプログラミング	(2)	PA教職実技(伴奏・即興演奏)	(1)
デザイン思考とアート思考	(2)	PA教職実技(聴音・音楽理論)	(1)
アニメ・ゲーム音楽制作	(2)	PA教職実技(初見視唱・初見視奏)	(1)
アート・マネジメント	(2)	PAミュージカル	(1)
音楽とデザイン	(2)	PAキリスト教音楽	(1)
音楽ビジネス	(2)	PAピアノデュオ	(1)
ステージパフォーマンス・ワークショップ	(2)	PAフルートアンサンブル	(1)
身体表現ワークショップ1	(2)	PAアンサンブル管弦楽	(2)
身体表現ワークショップ2	(2)	PA室内楽	(1)
番組制作ワークショップ	(2)	PA声楽アンサンブル(スタンダード)	(1)
音響機器ワークショップ	(2)	PA声楽アンサンブル(アドバンスト)	(1)
録音実技ワークショップ	(2)	PAオペラ	(1)
アナウンス・朗読	(2)	PA Digital Fabrication Lab.	(1)
声の仕事	(2)	PA Media Art	(1)
ミュージカルレパートリー・ワークショップ	(2)	PA Moving Images, Movies	(1)
作曲を楽しもうA	(2)	PA Internet of Things	(1)
作曲を楽しもうB	(2)	PA AI Technology and Music	(1)
ポップスアレンジ	(2)	PA Digital Technology Marketing	(1)
バンドを楽しもうA	(2)	PA 副科個人実技	(2)
バンドを楽しもうB	(2)	PA グループ実技(バレエ1)	(1)
アンサンブルを楽しもう	(2)	PA グループ実技(バレエ2)	(2)
ソングライティング	(2)	PA グループ実技(バレエ3)	(3)
コーラスリーダー・ワークショップ	(2)	PA グループ実技(ダンス1)	(1)
音楽起業ワークショップ	(2)	PA グループ実技(ダンス2)	(2)
英語で音楽ビジネス	(2)	PA グループ実技(ダンス3)	(3)

2019年度以降入学者

音楽の基礎知識	(2)	ヨーロッパの劇場と文化	(2)
音楽基礎理論	(2)	音響の心理	(2)
合唱 I A	(1)	デザイン思考とアート思考	(2)
合唱 I B	(1)	音楽とプログラミング	(2)
基礎声楽A	(1)	音楽ジャーナリズム	(2)
基礎声楽B	(1)	医療と音楽	(2)
基礎ピアノA	(1)	心と音楽	(2)
基礎ピアノB	(1)	音楽療法1	(2)
和声A	(2)	音楽療法2	(2)
和声B	(2)	アニメ・ゲーム音楽制作	(2)
ソルフェージュA	(1)	アート・マネジメント	(2)
ソルフェージュB	(1)	音楽とデザイン	(2)
コンピュータ音楽制作	(2)	音楽ビジネス	(2)
音響の基礎	(2)	ミュージックビデオ制作	(2)
映像制作基礎	(2)	ステージパフォーマンス・ワークショップ	(2)
J-POP 音楽論	(2)	映像制作応用	(2)
賛美歌学	(2)	音響機器ワークショップ	(2)
賛美歌を作ろう	(2)	録音実技ワークショップ	(2)
キリスト教音楽研究A	(2)	アナウンス・朗読	(2)
キリスト教音楽研究B	(2)	声の仕事	(2)
キリスト教音楽概論	(2)	ミュージカルレパートリー・ワークショップ	(2)
キリスト教音楽実践A	(2)	ポップスアレンジ	(2)
キリスト教音楽実践B	(2)	バンドを楽しもうA	(2)
コード理論A	(2)	バンドを楽しもうB	(2)
コード理論B	(2)	音楽と身体表現	(2)
伴奏法A	(1)	音楽と脳科学	(2)
伴奏法B	(1)	共演芸術1A	(2)
合唱II A	(1)	共演芸術1B	(2)
合唱II B	(1)	共演芸術2A	(2)
身体の科学	(2)	共演芸術2B	(2)
英語で音楽理論	(2)	ジャズ・ヴォーカル・ワークショップ	(2)
ポピュラー音楽理論	(2)	ソングライティング	(2)
邦楽1	(1)	コーラスリーダー・ワークショップ	(2)
邦楽2	(1)	音楽起業ワークショップ	(2)
楽曲分析	(2)	英語で音楽ビジネス	(2)
旋律学	(2)	指揮法	(2)
合奏	(1)	合唱III A	(1)
演奏表現ワークショップ(クラシック)	(2)	合唱III B	(1)
西洋音楽通史	(4)	ピアノ指導ワークショップ	(2)
日本音楽通史	(4)	リトミック指導ワークショップ	(2)
公開講座・コンサート鑑賞	(2)	SNSとマーケティング	(2)
諸民族の音楽	(2)	基礎演習	(1)
文学と音楽	(2)	応用演習	(1)
吹奏楽概論	(2)	公开发表・公開演奏	(1)
世界のポピュラー音楽	(2)	専門ゼミ I	(1)
音楽スペシャル講義	(2)	専門ゼミ II	(1)
ポピュラー音楽史	(2)	専門ゼミ III	(1)
映画舞台音楽論1	(2)	専門ゼミ IV	(1)
映画舞台音楽論2	(2)	卒業プロジェクト	(6)

P A 教職実技 (声楽)	(1)	P A 個人実技 15 (室内楽)	(1)
P A 教職実技 (ピアノ)	(1)	P A 個人実技 15 (作編曲)	(1)
P A 教職実技 (伴奏・即興演奏)	(1)	P A 個人実技 15 (邦楽)	(1)
P A 教職実技 (聴音・音楽理論)	(1)	P A 個人実技 15 (その他)	(1)
P A 教職実技 (初見視唱・初見視奏)	(1)	P A 個人実技 30 (声楽)	(2)
P A キリスト教音楽	(1)	P A 個人実技 30 (ヴォイストレーニング)	(2)
P A ピアノデュオ	(1)	P A 個人実技 30 (伴奏法)	(2)
P A アンサンブル弦楽	(1)	P A 個人実技 30 (器楽)	(2)
P A フルートアンサンブル	(1)	P A 個人実技 30 (室内楽)	(2)
P A アンサンブル管楽	(1)	P A 個人実技 30 (作編曲)	(2)
P A アンサンブル管弦楽	(2)	P A 個人実技 30 (邦楽)	(2)
P A 室内楽	(1)	P A 個人実技 30 (その他)	(2)
P A ミュージカル	(1)	P A 個人実技 45 (声楽)	(3)
P A キーボード・インプロヴィゼーション	(1)	P A 個人実技 45 (ヴォイストレーニング)	(3)
P A 声楽アンサンブル (スタンダード)	(1)	P A 個人実技 45 (伴奏法)	(3)
P A 声楽アンサンブル (アドバンスト)	(1)	P A 個人実技 45 (器楽)	(3)
P A オペラ	(1)	P A 個人実技 45 (室内楽)	(3)
P A Digital Fabrication Lab.	(1)	P A 個人実技 45 (作編曲)	(3)
P A Media Art	(1)	P A 個人実技 45 (邦楽)	(3)
P A Moving Images, Movies	(1)	P A 個人実技 45 (その他)	(3)
P A Internet of Things	(1)	P A グループ実技 (バレエ 1)	(1)
P A AI Technology and Music	(1)	P A グループ実技 (バレエ 2)	(2)
P A Digital Technology Marketing	(1)	P A グループ実技 (バレエ 3)	(3)
P A 個人実技 15 (声楽)	(1)	P A グループ実技 (ダンス 1)	(1)
P A 個人実技 15 (ヴォイストレーニング)	(1)	P A グループ実技 (ダンス 2)	(2)
P A 個人実技 15 (伴奏法)	(1)	P A グループ実技 (ダンス 3)	(3)
P A 個人実技 15 (器楽)	(1)		

E 音楽学部演奏学科
2018年度以前入学者

専攻実技 (声楽) I A	(3)	専攻実技 (弦楽器) III A	(3)
専攻実技 (声楽) I B	(3)	専攻実技 (弦楽器) III B	(3)
専攻実技 (声楽) II A	(3)	専攻実技 (弦楽器) IV A	(3)
専攻実技 (声楽) II B	(3)	専攻実技 (弦楽器) IV B	(3)
専攻実技 (声楽) III A	(3)	専攻実技 (管楽器) I A	(3)
専攻実技 (声楽) III B	(3)	専攻実技 (管楽器) I B	(3)
専攻実技 (声楽) IV A	(3)	専攻実技 (管楽器) II A	(3)
専攻実技 (声楽) IV B	(3)	専攻実技 (管楽器) II B	(3)
専攻実技 (鍵盤楽器) I A	(3)	専攻実技 (管楽器) III A	(3)
専攻実技 (鍵盤楽器) I B	(3)	専攻実技 (管楽器) III B	(3)
専攻実技 (鍵盤楽器) II A	(3)	専攻実技 (管楽器) IV A	(3)
専攻実技 (鍵盤楽器) II B	(3)	専攻実技 (管楽器) IV B	(3)
専攻実技 (鍵盤楽器) III A	(3)	導入セミナー	(1)
専攻実技 (鍵盤楽器) III B	(3)	和声 A	(2)
専攻実技 (鍵盤楽器) IV A	(3)	和声 B	(2)
専攻実技 (鍵盤楽器) IV B	(3)	合唱 I A	(1)
専攻実技 (弦楽器) I A	(3)	合唱 I B	(1)
専攻実技 (弦楽器) I B	(3)	合唱 II A	(1)
専攻実技 (弦楽器) II A	(3)	合唱 II B	(1)
専攻実技 (弦楽器) II B	(3)	ソルフェージュ A	(1)

ソルフェージュ B	(1)	諸民族の音楽	(2)
演奏のためのからだづくり A	(1)	キリスト教音楽概論	(2)
演奏のためのからだづくり B	(1)	楽曲分析	(2)
2年次修了公開演奏	(2)	共演芸術 1 A	(2)
卒業公開演奏	(4)	共演芸術 1 B	(2)
室内楽の夕べ	(2)	共演芸術 2 A	(2)
オーケストラ協演の夕べ	(3)	共演芸術 2 B	(2)
学内公開演奏	(1)	キリスト教音楽研究 A	(2)
学外公開演奏	(1)	キリスト教音楽研究 B	(2)
演奏ボランティア	(1)	現代音楽レパートリー	(2)
フェリス レイヤーズ・オン・ステージ [スタンダード]	(2)	アーティストのための身体表現 A	(2)
フェリス レイヤーズ・オン・ステージ [アドヴァンス]	(3)	アーティストのための身体表現 B	(2)
ピアノデュオ	(1)	演奏スペシャル講義 1 A	(2)
フルートアンサンブル	(1)	演奏スペシャル講義 1 B	(2)
アンサンブル管弦楽	(2)	演奏スペシャル講義 2 A	(2)
合唱Ⅲ A	(1)	演奏スペシャル講義 2 B	(2)
合唱Ⅲ B	(1)	副科ピアノクラス A	(1)
室内楽	(1)	副科ピアノクラス B	(1)
声楽アンサンブル (スタンダード)	(1)	副科声楽クラス A	(1)
声楽アンサンブル (アドヴァンス)	(1)	副科声楽クラス B	(1)
バロックアンサンブル A	(1)	伴奏法 A	(1)
バロックアンサンブル B	(1)	伴奏法 B	(1)
伴奏実習	(1)	ピアノ指導ワークショップ	(2)
ピアノレパートリー A	(1)	幼児リトミック指導ワークショップ A	(2)
ピアノレパートリー B	(1)	幼児リトミック指導ワークショップ B	(2)
バロック鍵盤音楽レパートリー A	(1)	リトミック指導ワークショップ	(2)
バロック鍵盤音楽レパートリー B	(1)	コーラスリーダー・ワークショップ	(2)
声楽レパートリー 1 A	(1)	指揮法	(2)
声楽レパートリー 1 B	(1)	作・編曲法	(2)
声楽レパートリー 2 A	(1)	編曲のテクニク	(2)
声楽レパートリー 2 B	(1)	キーボードハーモニー A	(2)
オペラ	(1)	キーボードハーモニー B	(2)
オラトリオ演習 A	(1)	邦楽 1	(1)
オラトリオ演習 B	(1)	邦楽 2	(1)
キリスト教音楽	(1)	P A 副科個人実技 A	(2)
演奏アドヴァンス I A	(2)	P A 副科個人実技 B	(2)
演奏アドヴァンス I B	(2)	P A 教職副科個人実技 A	(1)
演奏アドヴァンス II A	(2)	P A 教職副科個人実技 B	(1)
演奏アドヴァンス II B	(2)	P A 第 2 専攻個人実技 A	(3)
客員教授特別講義	(2)	P A 第 2 専攻個人実技 B	(3)
西洋音楽通史	(4)	P A アンサンブル弦楽	(1)
日本音楽通史	(4)	P A アンサンブル管楽	(1)
国内音楽研修	(1)	P A キーボード・インプロヴィゼーション	(1)
海外音楽研修	(2)		

F 国際交流学部国際交流学科

導入演習	(1)	国際交流への招待	(2)
研究入門 (国際交流学部での学び)	(2)	国際関係論	(2)
研究入門 (時事問題を学ぶ)	(2)	人権保障と法	(2)
研究入門 (歴史から見る現代世界)	(2)	政治学概論	(2)
基礎演習	(1)	SDGs 入門	(2)

国際関係史	(2)	国際平和論	(2)
文化外交	(2)	国際機構とグローバル・イシューズ	(2)
時事問題からみる国際関係	(2)	国際経済学	(2)
グローバル化と労働	(2)	途上国と開発経済学	(2)
グローバル化と生活	(2)	現代日本の経済問題	(2)
社会学概論A	(2)	グローバル経済史	(2)
社会学概論B	(2)	開発援助論	(2)
グローバル化する社会	(2)	国際開発の理論と実践	(2)
グローバル経済	(2)	国際社会と法	(2)
国際交流の歴史	(2)	国際経済と法	(2)
世界史概説A	(2)	セクシュアリティと法	(2)
世界史概説B	(2)	法でみる世界B	(2)
世界の宗教	(2)	法学概論	(2)
日本史概説A	(2)	法学研究	(2)
日本史概説B	(2)	環境法	(2)
日本の文化交流	(2)	比較法	(2)
入門経済学1	(2)	法でみる社会B	(2)
入門経済学2	(2)	地域統合	(2)
日本経済の歴史	(2)	日米関係史	(2)
現代の日本経済	(2)	ヨーロッパ政治思想史	(2)
東アジアの近現代史	(2)	外交政策論	(2)
東アジアの国際関係史	(2)	経営史	(2)
ヨーロッパ史	(2)	イノベーションと社会	(2)
ヨーロッパ現代史	(2)	世界の格差と国際協力	(2)
横浜学	(2)	観光社会学	(2)
ジェンダーと法	(2)	観光ビジネス論	(2)
現代社会を理解するためのジェンダー理論	(2)	市民社会の国際協力	(2)
地球環境	(2)	日本外交史	(2)
環境と開発問題	(2)	現代日本と国際関係	(2)
世界の人口問題	(2)	南アジアの経済	(2)
平和思想と運動	(2)	ヨーロッパの経済と社会	(2)
国際ビジネス入門	(2)	ヨーロッパの地域開発と観光	(2)
プロジェクトで学ぶ現代社会	(2)	フランスの政治	(2)
Current Global Affairs	(2)	現代中国入門	(2)
Japan Studies	(2)	東南アジアの政治	(2)
英語で学ぶグローバル問題	(2)	ロシア研究	(2)
英語で学ぶ国際協力	(2)	ドイツ史	(2)
英語で学ぶ社会科学	(2)	南アジアの労働	(2)
英語で学ぶ人文科学	(2)	アジア史概説	(2)
ことばとフィールド (ヴェトナム)	(2)	中国現代史	(2)
ことばとフィールド (タイ)	(2)	韓国現代史	(2)
ことばとフィールド (インドネシア)	(2)	北朝鮮現代史	(2)
ことばとフィールド (フィリピン)	(2)	アジアの国際関係	(2)
システム開発とプログラミング	(2)	アジアの環境問題 1	(2)
統計で学ぶ社会問題 (基礎)	(2)	アジアの環境問題 2	(2)
統計で学ぶ社会問題 (応用)	(2)	アジア現地実習	(2)
ヨーロッパ現地実習	(2)	ユーラシアの国際関係	(2)
オーストラリア現地実習	(2)	北ヨーロッパの歴史	(2)
Spring Abroad	(2)	イギリスの政治と社会 1	(2)
比較政治制度論	(2)	イギリスの政治と社会 2	(2)
国際政治	(2)	アメリカの政治	(2)

アメリカの外交	(2)	イギリス史	(2)
アメリカと国際政治	(2)	現代イギリス論	(2)
現代アメリカ論 1	(2)	イギリスの思想と宗教	(2)
現代アメリカ論 2	(2)	イギリスの文化	(2)
カナダの社会	(2)	アメリカの文化 1	(2)
アフリカを学ぶ	(2)	アメリカの文化 2	(2)
中東を学ぶ	(2)	アメリカ史	(2)
平和構築	(2)	アメリカ社会史	(2)
人権と世界政治	(2)	アメリカの思想と宗教	(2)
安全保障	(2)	オーストラリアの社会と文化 1	(2)
東アジアの安全保障	(2)	オーストラリアの社会と文化 2	(2)
国際協力特殊講義	(2)	環境教育の理念と実践	(2)
日本政治思想史	(2)	スポーツと国際社会	(2)
日本社会史	(2)	比較スポーツ論	(2)
現代社会に見る日本文化	(2)	文化交流特殊講義	(2)
フランス史	(2)	市民参加の社会形成	(2)
スペイン史	(2)	Globalization Studies	(2)
スペインの文化と社会	(2)	コーポレート・ガバナンスと日本企業	(2)
ラテンアメリカの歴史と文化	(2)	アジア経済論	(2)
スペイン語圏の文化と社会	(2)	国際ビジネス論	(2)
ラテンアメリカ文化論	(2)	金融入門	(2)
文化交流論	(2)	金融論	(2)
比較文化論から見た芸能	(2)	マーケティング論	(2)
翻訳と文化	(2)	国際交通論	(2)
アジア共同体研究	(2)	国際経営戦略論	(2)
メディア文化と社会	(2)	情報が世界を変える	(2)
若者の文化と社会	(2)	社会を読み解くデータサイエンス基礎	(2)
情報発信と世界	(2)	社会を読み解くデータサイエンス応用	(2)
イスラームと世界	(2)	データ分析設計	(2)
中国の文化と社会	(2)	プログラミングとデータの可視化	(2)
中国の近現代文学	(2)	横浜学実習	(2)
中国の文化と芸術	(2)	地方分権と市民社会	(2)
韓国の文化と社会	(2)	人文地理学	(2)
コリアン・スタディーズ	(2)	自然地理学	(2)
南アジアの文化と社会	(2)	地誌	(2)
中東の文化と社会	(2)	都市生活の空間デザイン	(2)
アフリカの文化と社会	(2)	住空間デザイン	(2)
フランスの文化と社会	(2)	環境共生型ライフスタイル	(2)
フランス文化論	(2)	ジェンダーと持続可能な開発	(2)
ファッションとアート	(2)	環境と持続可能性のまちづくり	(2)
ブランド文化論	(2)	持続可能な資源利用	(2)
ヨーロッパの文化とジェンダー	(2)	社会政策論	(2)
ヨーロッパ地域論	(2)	身体と生命の社会学	(2)
キリスト教と文化	(2)	家族の比較文化論	(2)
アジアの宗教と思想	(2)	ヨーロッパ社会史	(2)
政治思想論	(2)	北ヨーロッパの福祉社会	(2)
思想文化論	(2)	格差社会とアイデンティティー	(2)
ヨーロッパ世界の芸術	(2)	若者の労働環境	(2)
スペイン語圏の文学	(2)	若者の社会参加とSDG s	(2)
イギリス史 1	(2)	英語で学ぶグリーン経済と農業	(2)
イギリス史 2	(2)	英語で学ぶグリーン経済とエネルギー	(2)

地域ブランドの育て方	(2)	在日外国人	(2)
地域と食文化	(2)	余暇と旅行	(2)
中国の環境と開発	(2)	観光文化論	(2)
環境学（1）	(2)	民族問題から見た世界情勢	(2)
環境学（2）	(2)	移住と文化の理論	(2)
地球環境入門	(2)	国際ブランド・ビジネス	(2)
農環境体験実習	(2)	ボランティア論	(2)
海外環境フィールド実習	(2)	人間環境特殊講義	(2)
海外エコツーリズム実習	(2)	専門演習	(1)
グローバル化する仕事と家族	(2)	卒業論文	(6)

別表第3（第3条関係）

教職に関する科目

（ ）内は単位数

2018年度以前入学者

教職入門	(2)	社会・地理歴史科教育法Ⅱ	(2)
教育原理	(2)	社会・公民科教育法Ⅰ	(2)
教育思想	(2)	社会・公民科教育法Ⅱ	(2)
教育心理学	(2)	道德教育の理論と実践	(2)
教育社会学	(2)	特別活動	(2)
教育課程論	(2)	教育方法・技術	(2)
英語科教育法Ⅰ	(4)	生徒・進路指導の理論と方法	(2)
英語科教育法Ⅱ	(4)	教育相談	(2)
国語科教育法Ⅰ	(4)	教育実習1	(1)
国語科教育法Ⅱ	(4)	教育実習2	(2)
音楽科教育法Ⅰ	(4)	教育実習3	(2)
音楽科教育法Ⅱ	(4)	教職実践演習（中・高）	(2)
社会・地理歴史科教育法Ⅰ	(2)		

2019～2021年度入学者

英語科教育法Ⅰ	(4)	教育心理学	(2)
英語科教育法Ⅱ	(4)	特別支援教育の基礎と方法	(1)
国語科教育法Ⅰ	(4)	教育課程論	(2)
国語科教育法Ⅱ	(4)	道德教育の理論と実践	(2)
音楽科教育法Ⅰ	(4)	総合的な学習の時間の指導法	(1)
音楽科教育法Ⅱ	(4)	特別活動	(2)
社会・地理歴史科教育法Ⅰ	(2)	教育方法・技術	(2)
社会・地理歴史科教育法Ⅱ	(2)	生徒・進路指導の理論と方法	(2)
社会・公民科教育法Ⅰ	(2)	教育相談	(2)
社会・公民科教育法Ⅱ	(2)	教育実習1	(1)
教育原理	(2)	教育実習2	(2)
教育思想	(2)	教育実習3	(2)
教職入門	(2)	教職実践演習（中・高）	(2)
教育社会学	(2)		

2022年度以降入学者

英語科教育法Ⅰ	(4)	教育心理学	(2)
英語科教育法Ⅱ	(4)	特別支援教育の基礎と方法	(1)
国語科教育法Ⅰ	(4)	教育課程論	(2)
国語科教育法Ⅱ	(4)	道德教育の理論と実践	(2)
音楽科教育法Ⅰ	(4)	総合的な学習の時間の指導法	(1)
音楽科教育法Ⅱ	(4)	特別活動	(2)
社会・地理歴史科教育法Ⅰ	(2)	教育の方法・技術（情報通信技術の活用含む）	(2)
社会・地理歴史科教育法Ⅱ	(2)	生徒・進路指導の理論と方法	(2)
社会・公民科教育法Ⅰ	(2)	教育相談	(2)
社会・公民科教育法Ⅱ	(2)	教育実習1	(1)
教育原理	(2)	教育実習2	(2)
教育思想	(2)	教育実習3	(2)
教職入門	(2)	教職実践演習（中・高）	(2)
教育社会学	(2)		

別表第4（第3条の2関係）

日本語科目及び日本事情に関する科目

（ ）内は単位数

（外国人留学生対象）

大学で学ぶ日本語Ⅰ	(1)	日本事情A	(2)
大学で学ぶ日本語Ⅱ	(1)	日本事情B	(2)

別表第5（第18条関係）

卒業に必要な単位

A 文学部

2015年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英語 英米文学科	日本語 日本文学科	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	2	キリスト教科目については、 「キリスト教概論」2単位及び 「キリスト教概論」以外のキリ スト教科目から2単位を必修 とする。 語学科目の修得単位は、卒業要 件として32単位まで認める。
	総合課題科目	2	2	2	
	語 学 科 目	20又は22	10又は22	10又は22	
専門 科目	卒業論文又は 卒業論文・卒 業制作	6	6	6	
	選択必修科目	44	36	36	
合計	区分の規定に従 って取得した単 位数と共通科 目、専門科目及 び教職に関する 科目を通じて自 由に選択して取 得した単位数の 合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業科 目のうち、専門科目は、所属学部 及び他学部の専門科目とする。

備考

- 1 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。
- 2 2015年度入学者に適用する共通科目は、「キリスト教Ⅰ」は「キリスト教概論」、「キリスト教Ⅱ、Ⅲ」は「キリスト教学」又は「一神教概論」、「キリスト教Ⅳ」は「フェリス女学院とキリスト教」と読み替える。

2016年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英語 英米文学科	日本語 日本文学科	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	2	キリスト教科目については、 「キリスト教概論」2単位及び 「キリスト教概論」以外のキリ スト教科目から2単位を必修 とする。
	総合課題科目	2	2	2	
	語 学 科 目	20又は22	10又は22	10又は22	語学科目の修得単位は、卒業要 件として32単位まで認める。
専門 科目	卒業論文又は 卒業論文・卒 業制作	6	6	6	
	選択必修科目	44	37	36	
合計	区分の規定に 従って取得し た単位数と共 通科目、専門 科目及び教職 に関する科目 を通じて自由 に選択して取 得した単位数 の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業 科目のうち、専門科目は、所属 学部及び他学部の専門科目と する。

備考

- 1 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。
- 2 2016年度入学者に適用する共通科目は、「キリスト教Ⅰ」は「キリスト教概論」、「キリスト教Ⅱ、Ⅲ」は「キリスト教学」又は「一神教概論」、「キリスト教Ⅳ」は「フェリス女学院とキリスト教」と読み替える。

2017年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英語 英米文学科	日本語 日本文学科	コミュニ ケーション 学 科	
共通 科目	CLAコア科目	8	8	8	「キリスト教概論」2単位及び 「キリスト教学」2単位を必修 とする。 語学科目の修得単位は、卒業要 件として32単位まで認める。
	語 学 科 目	20又は22	10又は22	10又は22	
専門 科目	卒業論文又は 卒業論文・卒 業制作	6	6	6	
	選択必修科目	44	37	36	
合計	区分の規定に 従って取得し た単位数と共 通科目、専門 科目及び教職 に関する科目 を通じて自由 に選択して取 得した単位数 の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業 科目のうち、専門科目は、所属 学部及び他学部の専門科目と する。

備考

- 1 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。
- 2 2017年度入学者に適用するCLAコア科目は、「キリスト教Ⅰ」は「キリスト教概論」、「キリスト教Ⅱ、Ⅲ」は「キリスト教学」又は「一神教概論」、「キリスト教Ⅳ」は「フェリス女学院とキリスト教」と読み替える。

2018年度以降入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英語 英米文学科	日本語 日本文学科	コミュニ ケーション 学 科	
共通 科目	CLAコア科目	8	8	8	「キリスト教概論」2単位及び 「キリスト教学」2単位を必修 とする。 語学科目の修得単位は、卒業要 件として32単位まで認める。
	語 学 科 目	20又は22	10、16 又は22	10、16 又は22	
専門 科目	卒業論文又は 卒業論文・卒 業制作	6	6	6	
	選択必修科目	44	37	36	
合計	区分の規定に 従って取得し た単位数と共 通科目、専門 科目及び教職 に関する科目 を通じて自由 に選択して取 得した単位数 の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業 科目のうち、専門科目は、所属 学部及び他学部の専門科目と する。

備考

- 1 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。
- 2 2018～2023年度入学者に適用するCLAコア科目は、「キリスト教Ⅰ」は「キリスト教概論」、「キリスト教Ⅱ、Ⅲ」は「キリスト教学」又は「一神教概論」、「キリスト教Ⅳ」は「フェリス女学院とキリスト教」と読み替える。

B 音楽学部

2014～2016年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		音楽芸術学科	演奏学科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	キリスト教科目については、「キリスト教概論」2単位及び「キリスト教概論」以外のキリスト教科目から2単位を必修とする。
	総合課題科目	2	2	
	語 学 科 目	8	8	
専門 科目	卒業プロジェクト又は卒業公開演奏	6	4	
	2年次修了公開演奏		2	
	選択必修科目	34	40	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考

- 1 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。
- 2 2014～2016年度入学者に適用する共通科目は、「キリスト教Ⅰ」は「キリスト教概論」、「キリスト教Ⅱ、Ⅲ」は「キリスト教」又は「一神教概論」、「キリスト教Ⅳ」は「フェリス女学院とキリスト教」と読み替える。

2017～2018年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		音楽芸術学科	演奏学科	
共通 科目	CLAコア科目	8	8	「キリスト教概論」2単位及び 「キリスト教学」2単位を必修と する。
	語 学 科 目	8	8	語学科目の修得単位は、卒業要件 として32単位まで認める。
専門 科目	卒業プロジェクト又は卒業公開演奏	6	4	
	2年次修了公開演奏		2	
	選択必修科目	34	40	
合計	区分の規定に従って 取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目 を通じて自由に選択 して取得した単位数 の合計	124	124	自由に選択して修得する授業科 目のうち、専門科目は、所属学部 及び他学部の専門科目とする。

備考

- 1 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。
- 2 2017～2018年度入学者に適用するCLAコア科目は、「キリスト教Ⅰ」は「キリスト教概論」、「キリスト教Ⅱ、Ⅲ」は「キリスト教学」又は「一神教概論」、「キリスト教Ⅳ」は「フェリス女学院とキリスト教」と読み替える。

2019年度以降入学者

区分		卒業に必要な単位数		備考
		音楽芸術学科		
共通 科目	CLAコア科目	8		「キリスト教概論」2単位及び「キリスト教学」2単位を必修とする。 語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
	語学科目	10又は22		
専門 科目	卒業プロジェクト	6		
	選択必修科目	38		
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124		自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考

- 1 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。
- 2 2019～2023年度入学者に適用するCLAコア科目は、「キリスト教Ⅰ」は「キリスト教概論」、「キリスト教Ⅱ、Ⅲ」は「キリスト教学」又は「一神教概論」、「キリスト教Ⅳ」は「フェリス女学院とキリスト教」と読み替える。

C 国際交流学部

2009～2016年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		国際交流学科		
共通 科目	基礎教養科目		2	キリスト教科目については、「キリスト教概論」 2単位及び「キリスト教概論」以外のキリスト教 科目から2単位を必修とする。
	総合課題科目		2	
	語 学 科 目		10又は22	
専門 科目	卒 業 論 文		6	卒業論文（6単位）に代えて、指導教員の指定する 専門科目（6単位）を修得することができる。
	必 修 科 目		8	
	選択必修科目		32	
合計	区分の規定に従 って取得した単 位数と共通科 目、専門科目及 び教職に関する 科目を通じて自 由に選択して取 得した単位数の 合計		124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科 目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考

- 1 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。
- 2 2009～2016年度入学者に適用する共通科目は、「キリスト教Ⅰ」は「キリスト教概論」、「キリスト教Ⅱ、Ⅲ」は「キリスト教学」又は「一神教概論」、「キリスト教Ⅳ」は「フェリス女学院とキリスト教」と読み替える。

2017年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数	備 考
		国際交流学科	
共通 科目	CLAコア科目	8	「キリスト教概論」2単位及び「キリスト教学」2単位を必修とする。
	語 学 科 目	10又は22	
専門 科目	卒 業 論 文	6	卒業論文（6単位）に代えて、指導教員の指定する専門科目（6単位）を修得することができる。
	必 修 科 目	8	
	選択必修科目	32	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考

- 1 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。
- 2 2017年度入学者に適用するCLAコア科目は、「キリスト教Ⅰ」は「キリスト教概論」、「キリスト教Ⅱ、Ⅲ」は「キリスト教学」又は「一神教概論」、「キリスト教Ⅳ」は「フェリス女学院とキリスト教」と読み替える。

2018年度以降入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		国際交流学科		
共通 科目	CLAコア科目	8		「キリスト教概論」2単位及び「キリスト教学」2単位を必修とする。
	語 学 科 目	10、16又は22		
専門 科目	卒 業 論 文	6		卒業論文（6単位）に代えて、指導教員の指定する専門科目（6単位）を修得することができる。
	必 修 科 目	8		
	選択必修科目	32		
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124		自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考

- 1 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。
- 2 2018～2023年度入学者に適用するCLAコア科目は、「キリスト教Ⅰ」は「キリスト教概論」、「キリスト教Ⅱ、Ⅲ」は「キリスト教学」又は「一神教概論」、「キリスト教Ⅳ」は「フェリス女学院とキリスト教」と読み替える。

別表第6（第35条関係）

入学検定料

文学部 音楽学部 国際交流学部	35,000円
大学入学共通テスト 利用入学試験	15,000円

別表第7-1 (第36条の4関係)

学生納付金 (2016年度以前入学者)

A 文学部、国際交流学部

[入学金、学納金]

		前期	後期	備考
入学金		300,000円	————	入学時のみ
学納金	授業料 (基本額)	355,000円	355,000円	在学中
	実習費	7,500円	7,500円	在学中
	施設設備費	142,500円	142,500円	
納付総額	入学初年度	1,310,000円 (うち入学時 805,000円)		
	入学翌年度以降	1,010,000円		

備考

音楽学部開講の実技科目 (P A科目) を履修する者の当該学期の納入すべき授業料は、上記授業料 (基本額) にP A科目実技料を加えた額とする。なおP A科目実技料は、音楽学部学納金に定める。

[在籍料]

休学者の在籍料は、次のとおりとする。

前期	後期
181,250円	181,250円

B 音楽学部

[入学金、学納金]

1 音楽芸術学科

		前期	後期	備考
入学金		300,000円	————	入学時のみ
学納金	授業料（基本額）	355,000円	355,000円	在学中
	実習費	27,500円	27,500円	在学中
	施設設備費	220,800円	220,700円	
納付総額	入学初年度	1,506,500円（うち入学時 903,300円）		
	入学翌年度以降	1,206,500円		

2 演奏学科

		前期	後期	備考
入学金		300,000円	————	入学時のみ
学納金	授業料（基本額）	590,000円	590,000円	在学中
	実習費	55,000円	55,000円	在学中
	施設設備費	220,800円	220,700円	
納付総額	入学初年度	2,031,500円（うち入学時 1,165,800円）		
	入学翌年度以降	1,731,500円		

備考

- 1 納入すべき授業料は、実技科目の履修に応じ、上記授業料（基本額）に次のPA科目実技料を加えた額とする。

個人実技 [1 楽器等あたり]	50,000円（1 単位につき）
グループ実技	30,000円（1 単位につき）

- 2 演奏学科授業科目「専攻実技ⅠA・B～ⅣA・B」を再履修する場合、再履修料として1科目につき100,000円を納入しなければならない。ただし、修業年限を超えて在学する者については、別に定める。

[在籍料]

休学者の在籍料は、次のとおりとする。

	前期	後期
音楽芸術学科	191,250円	191,250円
演奏学科	322,500円	322,500円

別表第7-2 (第36条の4関係)

学生納付金 (2017年度以降入学者)

A 文学部、国際交流学部

[入学金、学納金]

		前期	後期	備考
入学金		200,000円	———	入学時のみ
学納金	授業料 (基本額)	412,500円	412,500円	在学中
	施設設備費	142,500円	142,500円	
納付総額	入学初年度	1,310,000円 (うち入学時 755,000円)		
	入学翌年度以降	1,110,000円		

備考

音楽学部開講の実技科目 (P A科目) を履修する者の当該学期の納入すべき授業料は、上記授業料 (基本額) にP A科目実技料を加えた額とする。なおP A科目実技料は、音楽学部学納金に定める。

[在籍料]

休学者の在籍料は、次のとおりとする。

前期	後期
206,250円	206,250円

B 音楽学部

[入学金、学納金]

1 音楽芸術学科

		前期	後期	備考
入学金		200,000円	————	入学時のみ
学納金	授業料（基本額）	432,500円	432,500円	在学中
	施設設備費	220,800円	220,700円	
納付総額	入学初年度	1,506,500円（うち入学時 853,300円）		
	入学翌年度以降	1,306,500円		

2 演奏学科

		前期	後期	備考
入学金		200,000円	————	入学時のみ
学納金	授業料（基本額）	695,000円	695,000円	在学中
	施設設備費	220,800円	220,700円	
納付総額	入学初年度	2,031,500円（うち入学時 1,115,800円）		
	入学翌年度以降	1,831,500円		

備考

- 1 納入すべき授業料は、実技科目の履修に応じ、上記授業料（基本額）に次のPA科目実技料を加えた額とする。

個人実技 [1 楽器等あたり]	50,000円（1 単位につき）
グループ実技	30,000円（1 単位につき）

- 2 演奏学科授業科目「専攻実技 I A・B～IV A・B」を再履修する場合、再履修料として1科目につき100,000円を納入しなければならない。ただし、修業年限を超えて在学する者については、別に定める。

[在籍料]

休学者の在籍料は、次のとおりとする。

	前期	後期
音楽芸術学科	216,250円	216,250円
演奏学科	347,500円	347,500円

別表第8（第43条関係）

科目等履修生受講料等

選考料 （ただし、本学卒業生及び国費留学生 は無料とする。）	5,000円
登録料・施設設備利用料	5,000円
受講料（1単位につき） 講義科目 実習又は演習科目 音楽学部実技科目	5,000円 10,000円 30,000円
単位認定料（1単位につき） 講義科目 実習又は演習科目 音楽学部実技科目	7,500円 15,000円 20,000円